

簿記の目的



まずは**本文**をお読みください

1 金銭の収支

私たち個人の収支でも、会社の収支でも、その内容や残高は大変重要です。私たちが、持っている以上のお金の商品を買ったり、返すことができる金額以上のローンを組めば、それこそ「自己破産」してしまうことになります。これが会社であれば、倒産するのは目に見えています。

ただし、会社が活動するためには当然出費は必要です。私たちが生活する上で、家賃や食費、光熱費などが必要なのと同じです。そこで、これらの金銭の収支がどのような用途によるものなのか、また、金銭の残高がいくらあるのかをつねに把握しておく必要があるわけです。このような金銭の収支を明らかにすることで、お金の効果的な使い方を考えたり、支出額を控えることができるようになるのです。

みなさんの持っている銀行預金の通帳も預金の収支が記録されているものです。また、みなさんも金銭の収支を、小遣い帳や家計簿などで記録した経験があると思います。まさにこれらが簿記の第一段階なのです。



講義を聴いてまとめてください

1. 簿記とは何をする事か…家事収支の例として

- (1) (**金銭収支**) を記録する
- (2) 何にお金を使ったのかを記録から把握する
 - 支出の節約に役立つ
- (3) お金や預金残高を知っておくため
 - カード決済
 - 預金引出残の把握

2. 家事収支と企業収支

主体が (**家計**) か (**企業**) かの違いで本質的には同じ (**金銭収支**) を記録することが重要である。

簿記の目的は、下記に示す2つのこと、つまり会計期間（一定期間）の経営成績を明らかにすることと、一定期日（期末）における財政状態を表示することにあります。この時に一定期間と一定期日という表現を混同しないように注意して下さい。

（注）財政状態

財産ではなく財政状態と表現します。これは財産だけでなく借金や資本金の全てを示すからです。

簿記の目的

- 1 一定期間の経営成績を計算する
- 2 一定期日の財政状態を明示する

これから、この本で学ぶことは、すべてこの2つを明らかにするための手段です。このやり方は500年ほど前に発見されたシステムで行われています。このシステムは次第に洗練されて、現在に至っています。

現在はコンピュータによる簿記処理が一般的です。ただし、何事も基本を知らなくては応用はできません。この本を読む中で、簿記の確かなバックボーンを身につけて下さい。



講義を聴いてまとめてください

1. 会社の金銭収支の記録

- (1) 基準期間…（ 会計期間 ）と呼ばれる（ 1年 ）を基準にする
- (2) 会計期間…（ 通常は4/1～3/31 ），日商3級は（ 1/1～12/31 ）

2. 簿記の目的

- (1) 業績の把握…会計期間の（ 儲け ）を知る
- (2) 財産有高の把握…（ 財産 ）や（ 借金 ）がどのくらいあるかを知る

3. 期間と期日

- (1) 儲けは（ 会計期間という期間 ）を限定して把握する。
- (2) 財産有高は、（ 会計期末の期日 ）（決算日）に把握する。

4. 把握の方法

儲けや財産有高は、一定の（ 報告書 ）により行われる。

5. 現在の記帳

コンピュータを用いて行われる。



まずは本文をお読みください

3 簿記の名称は

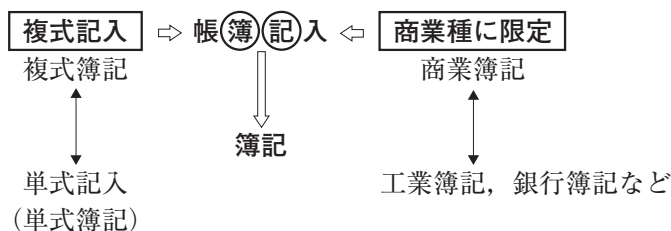
簿記を勉強していく上で、いろいろな言葉を学びます。慣例上の使い方をする言葉や、通常の意味とは違った意味を持つもの、感覚的にあれっと思うものなどがあると思いますが、その都度できるだけくわしく解説していきますので、意味と使い方をしっかりと覚えて下さい。

慣例として? 借方 → 左側のこと

通常の意味? 仕訳 → 仕分ける

感覚的に? 財政 → 財産ほか

では、まず簿記という言葉から始めましょう。この言葉は帳簿と記入という2つの言葉があわさって省略されたものです。現在、私たちが利用している簿記は、左側と右側に区別して記帳する複式簿記という方法で、普通簿記というと、この方式を指します。(これに対して、単式簿記という記帳方法もある。) また、この本で学ぶのは(つまり、簿記3級に出題されるのは) いわゆる商品売買を記帳する簿記ですから、商業簿記という方法で処理が行われます。



講義を聴いてまとめてください

1. 名称の由来

(帳簿記入) の真中2文字で (簿記) という名称が用いられる。

2. 簿記の方法

(単式簿記) (家計簿) と (複式簿記) があり、一般的には複式簿記が用いられる。

損益計算書



まずは本文をお読みください

1 利益の算出

会社の業績は、利益の大きさによって評価されます。単純にいうと、利益が大きければ大きいほど優秀な会社、逆に利益が計上されない会社はダメな会社という評価を受けるわけです。

利益は、次のような算式（概念）によって求めることができます。

利益の考え方

$$\boxed{\text{収 益}} - \boxed{\text{費 用}} = \boxed{\text{利 益}}$$

－商品の売上等－ －給料等の経費－ －当期純利益－

特に簿記では、会計期間（本年度）の利益のことを^{とう き じゅん り え き}当期純利益と呼びます。

収益とは ……会社が商品を販売した代金や、銀行預金の利息、他社からの手数料（リベート）などとして受取った収入をいいます。銀行などからの^{かりいれ}借入による入金は同じ収入ですが収益ではありません。名称が似ているので注意して下さい。

費用とは ……会社が従業員に給料を支払ったり、銀行へ利息を支払ったことによる^{ししゅつ}支出をいいます。同じ支出でも銀行借入の返済などによる元金部分の支払いは費用ではありません。

当期純利益とは ……収益が費用より多いときには、当期純利益が計上されます。逆に収益が費用より少ないときは、^{とう き じゅん ぞん しつ}当期純損失が計上されます。



講義を聴いてまとめてください

1. 利益の考え方

（**収益**）から（**費用**）を控除したものを（**利益**）と考え、一会計期間に計上された利益を（**当期純利益**）と呼ぶ。

2. 収益と収入

収益は儲けのもとになるものであり、（**収入**）とは異なる。

3. 費用と支出

費用は、収益から控除されるものであり、（**支出**）とは異なる。



まずは本文をお読みください

2 損益計算書とは

会計期間の経営成績を明らかにし、当期純利益を計算するのが^{そんえきけいさんしょ}損益計算書と呼ばれる報告書です。

当期純利益は、会計期間の収益から費用を引いた結果の数値ですから、その報告書である損益計算書もこれと同じ考え方によって計算されます。

損益計算書

費用	収益
当期純利益	

一会計期間の費用の方が収益より多い時には、当期純損失が計上されることになります。

損益計算書

費用	収益
	当期純損失



講義を聴いてまとめてください

1. 損益計算書とは

会計期間である1年間の（収益）から（費用）を控除して（当期純利益）を計上する報告書。

2. 財務諸表としての損益計算書

会社の（財務内容）を報告する書面の総称を財務諸表という。

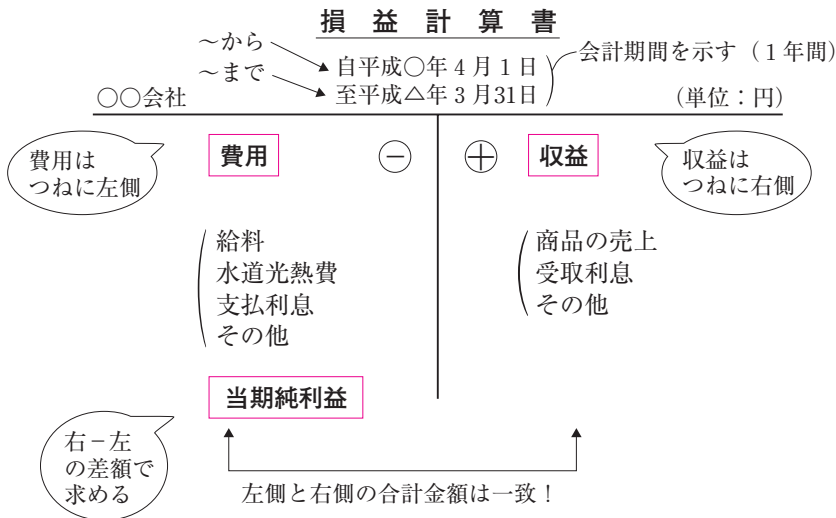
損益計算書は、財務諸表の1つである。

3. 全体のイメージ

左側に（費用）と（当期純利益）、右側に（収益）を計上する。

3 損益計算書の書き方

簿記の入門段階では、下のような左右対称の**勘定式**^{かんじょうしき}と呼ばれる損益計算書（P/L：Profit & Loss Statement；プロフィット・アンド・ロス・ステートメント）を作ります。この損益計算書は**財務諸表**^{ざいむしよひょう}と呼ばれる会社の経営成果を示す報告表の1つです。



講義を聴いてまとめてください

1. 作成上の注意点

- (1) タイトル…**損益計算書の書**という文字に注意
- (2) 日 付…**1年間**
- (3) 貸借金額…**一致**

2. 左側・右側に計上するもの

- (1) 左 側…**費用，当期純利益**
- (2) 右 側…**収益**

3. 財務諸表

損益計算書は（ **財務諸表** ）と呼ばれる報告書である。

貸借対照表



まずは本文をお読みください

1 会社のお金はどこから調達する？

どんな事業を始めるにしても、いくらかの資金は必要です。あなたが個人で事業を始めるのなら、自分で事業用の資金や資産を用意するはずですが、しかし、会社形態で事業を始めると、かぶけん株券などを発行してある程度の金額を、出資金としていろいろな人達から集めて、株式会社の形態を整えることになります。

このように事業開始にあたって調達された資金を^{しほんきん}資本金と呼びます。よく耳にする「あの会社は資本金〇〇億円だからすごい」というのは、資金として集めたお金の大きさを示していることになるわけであり、言い換えれば、株主の数の多さを意味することになります。



講義を聴いてまとめてください

1. 会社の資金調達方法

- (1) 起業家自身の提供（準備）
- (2) 起業家の関係者等（親族、友人等）
- (3) 一般株主からの提供

※ 他人からの提供…資本ではなく（借入）になる

2. 資本の考え方

会社の（経営基礎となる資金）であり、基本的には出資をした者には返還されない。…代わりに（配当）がもらえる。

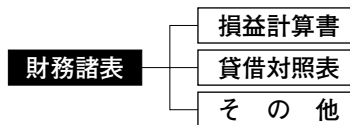
3. 資本金の大きさ

金額が多ければ多いほど（社会的信用）が高く、たくさんの人達から多くの資金を集めたことになる。つまり将来優良企業になる可能性が大きい。

貸借対照表は、左側と右側の金額が一致（バランス）することから、これを次のような等式で示すことができます。これを**貸借対照表等式**といいます。

貸借対照表等式				
資 産	=	負 債	+	純資産

また、一般的に損益計算書や貸借対照表は、^{ざいむしょひょう}**財務諸表**と呼ばれていて、会社ではその作成や保管、また開示が義務づけられています。



講義を聴いてまとめてください

1. 貸借対照表の作成時期

- (1) 損益計算書…(**1年間**)の期間を基準に(**儲け**)を計算する。
- (2) 貸借対照表…(**会計期末**)の一定日である(**決算日**)を基準に作成する。

※ 期間と期日の違いを明確に区別する。

2. 貸借対照表の作成方法

- (1) タイトル…**貸借対照書**でなく**表**
- (2) 日 付…**決算日**
- (3) 貸借バランス…**左側と右側の合計金額は一致する**

3. 左側・右側に計上されるもの

- (1) 左 側…**資産項目**
- (2) 右 側…**負債と純資産項目**

4. 貸借対照表等式

$$\text{資産} = (\text{負債}) + (\text{純資産})$$



範 例

貸借対照表

下記に示す資料により、貸借対照表を作成しなさい。決算は年1回とし、12月31日が決算日である。(決算年1回、12月31日)

資 料

借入金 200,000円、現金 50,000円、商品 150,000円
資本金 500,000円、土地 300,000円、貸付金 200,000円

解 説

ポイントは、左側に資産を計上し、右側に負債と資本金を計上することです。先ほどの貸借対照表等式

$$\text{資 産} = \text{負 債} + \text{純資産}$$

を思い出してほしいのですが、完成した後は左右の合計金額が一致するはずです。合わないときは、どこかでミスをしていますよ。

解 答

貸 借 対 照 表					
〇〇社		平成〇年12月31日現在		(単位：円)	
現 金	50,000	借 入 金	200,000		
商 品	150,000	資 本 金	500,000		
貸 付 金	200,000				
土 地	300,000				
	<u>700,000</u>			← 一 致 →	<u>700,000</u>

このように一致していればいいわけです。



講義を聴いてまとめてください

1. 作成時のポイント

資産、負債および純資産項目の（分類）を適切に行う。

2. 左側合計，右側合計

合計額は、左右それぞれバランスして（一致）する。

簿記の取引



まずは**本文**をお読みください

1 契約とは

法律上は、契約が成立すれば一方は履行（契約を実行すること）の義務を負い、他方は履行に関する給付を受ける（契約を実行してもらう）権利を得たことになります。例えば、近所の魚屋さんで「明日は娘の誕生日だから、3kgの鯛を頼むよ」と言えば、翌日魚屋さんは3kgの鯛を用意しておかなければならないし、客は3kgの鯛を買うことができます。これも、契約の一例と考えることができます。

一般的には、契約とはある一定の法律行為に関する当事者間の権利と義務を示すものと解釈することができます。この契約が成立すれば、一般的には取引が発生したことになります。

不動産契約では「契約書」をとりかわすのが一般的です。しかし商品などの動産では、商品の引渡しと金銭の授受が契約そのものになります。



講義を聴いてまとめてください

1. 契約とは

当事者間の（**合意**）（約束）であり、当事者間に法律関係を生じさせるもので、口約束でも契約となりうる。

2. 売買契約とは

(1) 買主…その物をいくらで買うという（**申込み**）を行う。

(2) 売主…その売却を（**承諾**）する。

(3) 一致…上記(1)と(2)が一致すれば（**売買契約**）は成立する。

3. 契約書の有無

不動産などの場合は、権利義務が複雑であり必ず売買（**契約書**）をとりかわす。

しかし、動産等の場合は、（**財産の引渡**）と（**金銭授受**）が同時に行われるため、これが売買契約になる。

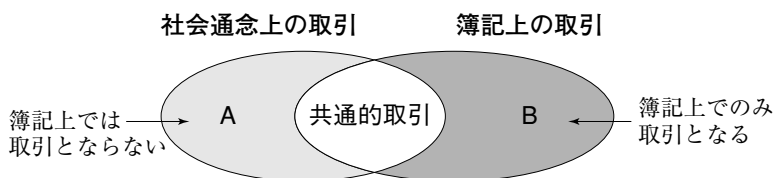


まずは本文をお読みください

2 簿記での取引

簿記では、会社が行った取引のすべてを記帳しておくのが基本です。しかし、ここでいう取引とは、前述した契約のすべてを示すわけではありません。

簿記では、資産、負債、純資産の増減に係わる取引、費用と収益の発生に関するものだけを取引の発生として記帳します。したがって、社会通念上での取引とは言葉の定義が少し食い違っています。



具体的には、次のようなものが判断に迷う所ではないでしょうか。

A：簿記の取引に該当しないもの	B：簿記の取引に該当するもの
① 商品売買に関する契約	① 火災等による被害
② 不動産賃貸の契約	② 掛けによる商品売買
③ 代理店等の契約	③ 有価証券の時価下落
④ 抵当権の設定	④ 損害保険料の受取



講義を聴いてまとめてください

1. 通常の取引と異なる理由

簿記は（財産の変動などの事実）を記録することが本来の機能である。

このため法律上の契約であっても（財産変動等）がないものは記帳できず、（取引）という概念でとらえることはできない。

2. 定義上の注意

財産などの（増減だけ）でなく、費用収益の（発生）も取引になる。



また、火災保険の受取に関しては、被害の程度が全焼ですから、保険金をほぼ全額受け取ることができる予想されます。しかし、査定中である場合は金額が決定されるまでは、簿記上の取引には該当しません。

解答

1. ○ 2. × 3. × 4. ○ 5. × 6. ○



講義を聴いてまとめてください

1. 取引概念の注意

- (1) 法律上の（ **契約** ）イコール取引ではない。
- (2) 通常で概念で取引とは考えられない（ **火災発生** ）なども取引になる。
- (3) （ **契約** ）あるいは（ **取引金額の有無** ）が取引に該当するかどうかの判断にはならない。
- (4) （ **将来収支** ）を伴うようなものでも現在の取引として把握される。

2. 用語の注意

- (1) 資産、負債および純資産…**増減**という概念で把握する
- (2) 収益費用……………**発生**という概念で把握する
- (例) 支払済の水道代…**水道光熱費が減少することはない**

仕 訳

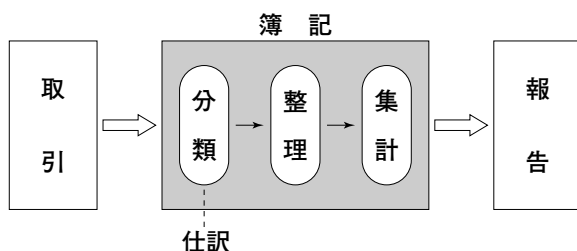


まずは本文をお読みください

1 簿記の仕組み

ここまでは、簿記の目的や大まかな仕組みについて話してきましたが、ここからは簿記の実際の記帳システムに関して考えていきましょう。

まず、ここまでに学習したことも含めて、簿記ではどのような記帳が行われているのかを説明しましょう。次の図を見て下さい。



簿記では、発生した取引を仕訳という方法で左側と右側に分けて記録します。記録するのは、資産、負債、純資産および費用、収益の増減です。

これを勘定口座と呼ばれるものに個々に転記して整理しておきます。これにより、いつでもこれらを集計することができます。決算にはすべてを整理して損益計算書や貸借対照表などの報告書を作成するわけです。



講義を聴いてまとめてください

1. 基本的記帳の方法

- (1) 仕 訳…取引を左側と右側に分類する
- (2) 記 録…取引を個々の項目別に分類する
- (3) 集 計…上記(2)を集計する
- (4) 報 告…財務諸表を作成する

2. 整理する基本

- (1) 仕 訳…各勘定口座へ分類する準備の作業
- (2) 勘定口座…項目別に取引金額を記録する場所

まずは**本文**をお読みください

2 複式簿記について

現在用いられている簿記では、取引の内訳^{うちわけ}を左右に分解して、その増減を2面記入しようとする**複式簿記**^{ふくしきほき}と呼ばれる方法が用いられています。

取引例

例えば、給料 10,000 円を現金で支払うという取引をしたとします。

この取引は、給料という費用が発生すると同時に、会社の資産（現金）が減少するという2つの変化が起こります。

取引 給料支払	給料（費用の発生）……給料という費用10,000円の発生
	現金（資産の減少）……現金という資産10,000円の減少

この2つをまず、仕訳という方法で原始的に記録します。次に、給料という費用項目と現金という資産項目を示すボードに貼りつけるわけです。

給料（費用）のボード

10,000 円発生

現金（資産）のボード

10,000 円減少

**講義**を聴いてまとめてください

1. 複式簿記の特徴

- (1) 借方と貸方を用いる…2way
- (2) 金額と理由…2つの内容「いくら、何があったか」

2. 取引の分解

- (1) 金額を前提にして
- (2) 何が増えて、何が減ったか
- (3) 何が発生したか

資産負債、純資産の増減と費用、収益の発生を一覧表にしてまとめると次のようになります。

内 訳	借 方	貸 方
資 産	+	-
負 債	-	+
純資産	(注)	+
費 用	+	(注)
収 益	(注)	+

(注) 取引が存在しないわけではありませんが、あまり一般的ではないため、現段階では考える必要はありません。

以下、本書では仕訳は次のようにして表現します。

(借方) 借 入 金 20,000 (貸方) 現 金 20,000



(借 入 金) 20,000 (現 金) 20,000



講義を聴いてまとめてください

1. 各勘定科目のポジション

左側 (借方) がポジションの科目…資産と費用

右側 (貸方) がポジションの科目…負債、純資産 (注) と収益

(注) 純資産は右側 (貸方) がポジションの科目である。この科目は左側 (借方) で減少することもあるが、特殊な勘定口座であるため左側 (借方) で計上することはほとんどないのでマスター不要

2. 増減と発生

(1) 増 減…資産と負債の科目は (左右) で計上することがある

(2) 発 生…費用は必ず (左側) で、収益は必ず (右側) でしか計上されない。

3. 取引の分解

問題文の取引は、落ち付いて (何が増加) して、(何が減少) したかを (左右別々) に考えて仕訳すること。



まずは本文をお読みください

5 勘定科目

仕訳によって、借方と貸方に分類された取引は、さらに取引の詳略な内容を示すために^{かん}勘定科目と呼ばれる名称がついた項目で処理されることになります。主な勘定科目は、次のようにまとめることができます。

資 産	負 債	純資産	費 用	収 益
現 金	支払手形	資本金	仕 入	売 上
当座預金	買掛金		給 料	受取利息
受取手形	借入金		水道光熱費	受取手数料
売掛金	未払金		交通費	
有価証券	預り金		福利厚生費	
商 品			交際費	
建 物			修繕費	
土 地				

ちなみに資産勘定の現金の増減は、次のようにイメージするとわかりやすいかもしれません。

4月2日	現 金	＋20,000				現 金			
4日	現 金	－10,000	→ 筆算でマイナス した所を反対側 に書く！			4/2	20,000	4/4	10,000
6日	現 金	＋30,000				4/6	30,000	4/7	15,000
7日	現 金	－15,000							



講義を聴いてまとめてください

1. 5項目の分類

勘定科目を（ 5つ ）に分類してそれぞれどの（ 項目 ）に属するかをマ
スターすること。

2. 資産と負債勘定

（ 資産 ）と（ 負債勘定 ）は、左側と右側でそれぞれ使用されるこ
とがあるので、その意味も理解すること。

（例）借方（左側）：借入金 -----> 借入金（負債）の減少



講義を聴いてまとめてください

1. 仕訳のシステム

- (1) 複式簿記…必ず (借方) と (貸方) に区別して取引を示す。
- (2) 勘定科目…取引は、(勘定口座) に分類整理されるので、この時に勘定科目というタイトルを用いる。
- (3) 別個に処理…取引ごとに (バラバラ) に仕訳する。
- (4) 貸借のバランス…資産、負債、純資産および収益、費用の各項目に分類され、仕訳の貸借は必ず (バランス) する。

2. 仕訳の方法

- (1) 分解する…取引を (何がどうしたか) をまず考える。
- (2) 科目の選定…(1)の「何が、どうしたか」を (2つに区分) してその内容を考えて、これを具体的な勘定科目と結び付ける。
- (3) 増減 (発生) …資産、負債および純資産、また収益、費用が増減 (発生) したので仕訳の (借方 (左側)) か (貸方 (右側)) かを考える。

3. 仕訳のポイント

- (1) 借方または貸方…仕訳は借方 (左側) と貸方 (右側) で行うが (自分でわかる方) から仕訳する。たとえば現金を支払ったのであれば、貸方 (右側) を現金と先に仕訳する。
- (2) 貸借差額…借方、貸方が (差額) で求められることもあるのでこのような時には最後に求める。

(例) (現	金)	8,000	(売買目的有価証券)	10,000
(有価証券売却損)		?		

元帳への転記



まずは本文をお読みください

1 転記の意味

簿記の目的は、会社の金銭収支などの取引に関する会計帳簿を作成し、期末にこれを集計して、損益計算書や貸借対照表を作成することです。

転記は、仕訳によって、資産、負債、純資産、費用、収益に分類されたそれぞれの取引要素を勘定口座^{かんじょうこうざ}という個々のページに記帳する作業です。この転記に関しても、それぞれの勘定科目のポジションとプラス・マイナスが考慮されますから、借方、貸方の区別を明確にしておかなければなりません。

次の取引を勘定口座である現金勘定に転記してみましょう。

取引例 20,000円を現金で借入れ、これを給料として5,000円支払った取引を考えてみます。

仕訳は次のようになります。

取引1：	(現金)	20,000	(借入金)	20,000
取引2：	(給料)	5,000	(現金)	5,000
		現金	勘定科目	
現金が	増加	20,000	5,000	現金が減少

取引1は、借方で現金が処理されていますから、借方に転記されます。

取引2は、貸方で現金が処理されていますから、貸方に転記されます。



講義を聴いてまとめてください

1. 転記のポイント

(勘定口座) へは、仕訳の借方、貸方の金額をそのまま (転記) すること。この時に借方、貸方の転記ミスをしないこと。

2. 転記ミス

(1) 転記もれ

(2) 他の勘定口座への転記ミス



解答

6月5日	車 両	現 金
6/5現 金 3,000		6/5車 両 3,000
6月7日	貸 付 金	現 金
6/7諸 口 5,000		6/7貸付金 4,700
		受取利息
		6/7貸付金 300
6月8日	建 物	現 金
6/8諸 口 3,000		6/8諸 口 5,000
	土 地	未 払 金
6/8諸 口 4,000		6/8諸 口 2,000



講義を聴いてまとめてください

1. 転記の三要素

- (1) 簿記の目的…簿記は、元帳へ（ **取引を記録** ）することが最大のテーマである。
- (2) 取引の解析…後日この元帳の各勘定口座から（ **どのような取引** ）が発生したかを（ **判断** ）することになる。
- (3) 勘定口座の内訳…この取引の内容を具体的に示すのが、（ **転記の三要素** ）である。

2. 日 付

- 取引が発生した（ **日（事実）** ）を具体的に示す。

3. 相手科目

- 相手科目により、（ **どのような取引** ）が行われたか判断できる。

4. 金 額

- どの程度の規模の取引であったかが（ **金額** ）から判断できる。

5. 受験上の注意

- 日商簿記検定3～1級では、実際に勘定口座へ転記される問題が出題されることは、ほとんどない。



講義を聴いてまとめてください

1. 試算表の種類

- (1) 合計試算表…各勘定口座の借方と貸方の（ **合計額** ）を集計したもの。
- (2) 残高試算表…各勘定口座の（ **貸借差額** ）である残高金額を集計したもの。
- (3) 合計残高試算表…上記(1)と(2)を（ **合体** ）させたもの。

2. オーソドックスな試算表

試算表として、（ **受験上** ）また（ **実務上** ）もっとも（ **一般的** ）な様式は残高試算表である。

3. 試算表作成上のポイント

日商簿記検定3級では、第3問に必ず試算表作成の問題が出題されます。

試算表作成では、ポイントがあるので紹介します。

- (1) 現金等…（ **収支取引の多い勘定口座** ）は落ち付いて集計する。
- (2) 売掛金等…試験では必ず配点がある。
- (3) 特殊科目…（ **固定資産売却損（益）** ）や（ **有価証券売却損（益）** ）などの勘定口座を正しく集計する。

商品売買の処理



まずは**本文**をお読みください

1 商品とは何か

会社はさまざまな財産を保有しています。現金などは支払手段とするための財産であり、建物や車両は営業活動などに利用するための財産です。そして、商品^{たな}は販売を目的として保有する財産です。商品のように、**販売を目的とする財産**のことを、**棚卸資産**^{さん}と呼びます。

この名称は、商品在庫を倉庫（棚）の中で実際に数量確認することから付けられたものです。

棚卸資産…企業が、直接または間接的に販売を目的として保有する財貨^{ざいか}

※直接販売の対象となる商品、製品以外に、間接的に販売される包装紙、原材料、製作中の製品なども棚卸資産と考えることができます。

商品と一言でいっても、その実体は業種によって大きく異なります。例えば、鮮魚店や宝石店また不動産屋では、取扱っている商品はまるで違います。しかし、商業簿記では、異なる商品であっても、そのすべてを棚卸資産として、同様の方法で処理します。ここでは、この処理方法について学習します。



講義を聴いてまとめてください

1. 棚卸資産

商品を売買している会社は、決算で（ **商品の在庫** ）を調査し、これを（ **貸借対照表** ）に計上しなければならない。

この在庫品の調査のために行われるのが、（ **商品の棚卸** ）である。このことから商品のことを棚卸資産と呼ぶ。

2. 学習上の商品

さまざまな商品が紹介されているが、一般的にはテレビなどの家電や洋服などの商品をイメージして学習をして下さい。



まずは本文をお読みください

3 仕入付随費用

会計では、ある独特な考え方があります。それは物品等の購入に際して発生するすべての費用を、その原価に加算しようとするものです。例えば、私たちがデパートでスーツを買うとき、そのスーツの値段はスーツに付けられた正札の金額です。これに往復の電車賃や昼食代をプラスしてスーツの値段だと思える人はいないはず。ところが、会計ではこれらの関連費用を付随費用ふずいひようとして、原価に加算します。

$$\text{商品原価} = \text{購入代金} + \text{付随費用}$$

商品を仕入れる際に発生する付随費用として代表的なものに、商品搬入のための運賃があります。もちろんこの運賃は商品の原価に加算しなければなりません。



講義を聴いてまとめてください

1. 商品売買で使用する勘定科目

- (1) 掛仕入…費用である（仕入）と負債である（買掛金）
- (2) 掛売上…収益である（売上）と資産である（売掛金）

2. 仕入、売上勘定の理解

商品という財産を資産として考えないことがポイント。

- (1) 仕入…販売のため（費用）が事前に発生する
- (2) 売上…販売により（収益）が発生する
- (3) 理由…収益と費用に（対応関係）を持たせるため

3. 商品の取得原価

- (1) 処理…（商品仕入時の運賃）は、独立した科目で費用処理せずに（商品原価）に加算する。
- (2) 理由…これも収益である売上と仕入を対応させるための考え方による。



まずは本文をお読みください

4 返品等の処理

商品売買には、さまざまな理由による返品や値引が発生します。

- 返品…品違い等による商品の返還
- 値引…欠陥等を理由にした売買代金の一部控除

これら返品等の処理は、いずれも仕入時、売上時の仕訳と貸借が逆の仕訳をします。

返品・値引の会計処理

1. 仕入返品・値引：(買 掛 金) ××× (仕 入) ×××
2. 売上返品・値引：(売 上) ○○○ (売 掛 金) ○○○

P.51の仕入・販売時の仕訳の逆仕訳です。

仕 入	
総仕入高	仕入返品
	仕入値引
	純仕入高
売 上	
売上返品	総売上高
売上値引	
純売上高	



講義を聴いてまとめてください

1. 返品等の会計処理方法

売上も仕入も値引等は (逆仕訳) をするとマスターすること。

2. 総と純の区別

通常の仕入や売上を示す金額は、値引等を控除した (純仕入高) や

(純売上高) のことを示す。



解説

1. 一部を掛取引とした商品仕入に関する取引ですから、掛の部分は買掛金勘定で処理します。
2. 販売された商品の原価は分かっていますが、分割法で処理する場合は、この原価を無視して、販売価額の総額を売上勘定に計上して下さい。ちなみに、商品の販売益を計算すると、下記ようになります。

$$\begin{array}{ccc} \text{販売単価} & \text{仕入単価} & \text{販売数量} \\ \text{商品販売益} : (250 \text{ 円} - 200 \text{ 円}) \times 30 \text{ 個} = 1,500 \text{ 円} \end{array}$$

3. 商品を仕入れる際に発生した運賃などは、すべて商品の原価に加算することとされています。支払運賃勘定などを使用しないように、注意しましょう。
4. 仕入れた商品の返品・値引に関する処理は、仕入時の仕訳と貸借が逆の仕訳をするだけです。
5. 商品売買を前提にする手付金の受払いは、買主（仕入）側では資産科目である前払金勘定を使用し、売主（売上）側では負債科目である前受金勘定を使用して処理します。勘定科目の使い方をマスターしておきましょう。
6. 商品仕入に際して、事前に前払金の支払いがされている場合に、商品の引取りが終われば、この前払金勘定を貸方に計上して相殺消去する必要があります。

解答

1. (仕	入)	20,000	(現	金)	5,000	
			(買	掛	金)	15,000
2. (売	掛	金)	7,500	(売	上)	7,500
3. (仕	入)	25,700	(買	掛	金)	25,000
			(現	金)	700	
4. (買	掛	金)	3,000	(仕	入)	3,000
5. (前	払	金)	30,000	(現	金)	30,000
6. (仕	入)	150,000	(現	金)	50,000	
			(前	払	金)	30,000
			(買	掛	金)	70,000



講義を聴いてまとめてください

1. 前払金、前受金の属性

類似する呼称であるが、(資産勘定) か (負債勘定) かを明確に区別しておくこと。



理しているので、支払時にも同様に現金勘定のマイナスとして処理しましょう。

解答

1. (現金) 15,000 (売上) 15,000
2. (買掛金) 20,000 (現金) 20,000



講義を聴いてまとめてください

1. 通貨代用証券の理解

通貨以外の証券類の処理をマスターする。

- (1) 他人振出小切手
- (2) 郵便為替証書
- (3) 配当金領収証… (貸方) (受取配当金) になる
- (4) 公社債の利札… (貸方) (有価証券利息) になる

2. 他人振出小切手

今後の問題では、(他人振出小切手) をいちばん使用する。

3. 他人振出小切手の預入れ

他人振出小切手を自社の取引銀行へ直ちに持込み (取立依頼) (現金化およびその預金預入れを取引銀行に依頼) するときは、現金勘定を使用せず、預金口座の名称を用いる。



範 例

当座預金の仕訳

下記の取引の仕訳を示しなさい。

1. 当社は大日本銀行大手町支店において当座預金口座を開設するはこびとなり、本日同口座へ現金2,000,000円を預入れた。
2. 大阪物産に対する買掛金500,000円の支払いのために、大日本銀行の小切手を振出し決済した。
3. 得意先B社より売掛金の回収として受取った同社振出の小切手200,000円を直ちに大日本銀行の当座へ預入れた。

解 説

1. 現金勘定が減少し当座預金勘定が増加するので、(借方)当座預金、(貸方)現金の仕訳を行います。
2. 小切手の振出しは当座預金勘定の減少項目ですから、(貸方)当座預金になります。当座預金の引出しは小切手を用いて行われますが、これは預金者本人であろうと例外ではなく、自ら小切手を振出し、これを銀行に持参して現金化することもあります。
3. 当座預金は、他の預金と同様に振込に利用することもできます。また、預入れは現金はもちろんのこと、他人振出の小切手でもすることができます。

解 答

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. (当 座 預 金) | 2,000,000 | (現 金) | 2,000,000 |
| 2. (買 掛 金) | 500,000 | (当 座 預 金) | 500,000 |
| 3. (当 座 預 金) | 200,000 | (売 掛 金) | 200,000 |



講義を聴いてまとめてください

1. 当座預金の性格

会社が (事業用) に使用する (特殊な預金) であることを理解する。

2. 引出の特殊性

預金の引出が (小切手) と呼ばれる証券を用いることに注意する。



解説

二勘定制では、振出した小切手の金額のうち、当座預金残高を超える部分は、負債勘定である当座借越勘定で処理します。また、当座預金への預入れの際に当座借越の残額がある場合は、その残額が0になるまで、預入れ分は当座借越の返済として処理します。

一勘定制では、当座預金の取引をすべて当座勘定で処理するので、仕訳の際に借越を意識する必要はありません。実務上は、ほとんどの企業で、この一勘定制が用いられています。

解答

1. (1) 二勘定制

(買 掛 金)	400,000	(当 座 預 金)	300,000
		(当 座 借 越)	100,000

(2) 一勘定制

(買 掛 金)	400,000	(当 座)	400,000
---------	---------	-------	---------

2. (1) 二勘定制

(当 座 預 金)	150,000	(売 掛 金)	250,000
(当 座 借 越)	100,000		

(2) 一勘定制

(当 座)	250,000	(売 掛 金)	250,000
-------	---------	---------	---------



講義を聴いてまとめてください

1. 当座借越の発生

問題上で当座借越が発生する場合は、問題文の指示で（ **一勘定制** ）や（ **二勘定制** ），また当座預金残高などが示されているので、すぐに当座借越が発生することが判断できる。

2. 仕訳時の注意

何も指示のない問題は、二勘定制である（ **当座預金勘定** ）を使用する方が無難である。

3. 実務上の処理

実務上は、複数の銀行に当座預金口座を有しているので、一勘定制を用いるのが一般的である。

約束手形



まずは**本文**をお読みください

1 約束手形とは何か

やくそくてがた
約束手形は、法律により、振出人（手形を発行する者）が一定の金額を一定の期日に指定する場所で支払うことを取り決めて発行される証券です。

取引例 A社がB社に、平成○年6月30日に10万円を甲銀行乙支店で支払います、ということを取り決めて約束手形を発行すると、6月30日に10万円を決済する権利、義務がこの手形に生ずることになります。簿記では、この権利、義務の関係を次のような勘定科目を用いて処理します。



講義を聴いてまとめてください

1. 手形の本質

代金決済は、口約束による契約でもかまわないが、あえてこれを（ **証書** ）を用いることにより（ **決済** ）を明解にしたもの。

2. 手形の振出

支払いに関する（ **日付** ）や（ **金額** ）が明解に義務付けられる。（手形小切手法適用）

3. 手形の受取

受取日、その金額が明確になり、手形の受取人（所持人）は（ **資金繰りの計画** ）が可能になる。



まずは**本文**をお読みください

2 約束手形の処理

約束手形が商取引において用いられるのは、商品売買に関する支払（受取）代金の決済をする場合です。

商品
売
買

→現金決済

→掛取引→現金決済

→掛取引→手形の授受 →手形代金決済

商品売買を掛取引で行い、その掛代金を現金で決済することもあります。資金的な事情などにより、まず手形を振出して支払日を確定させ、その支払日に手形代金を当座預金で決済するというのが一般的です。

約束手形の振出時の処理は、振出人、受取人でそれぞれ次のようになります。

振出時の処理

振出人：（買 掛 金） ××× （支 払 手 形） ×××
または、仕入

受取人：（受 取 手 形） ××× （売 掛 金） ×××
または、売上

下図は約束手形の一例です。切り取り線の右側が手形の本券として流通します。

約束手形 番 号 91	1 2 3 4	No. 91	約 束 手 形 東京千代田区大手町×-× (株)東京産業 殿	1 2 3 4
受 取 人 (株)東京産業		収 入 印 紙	金 額 ¥300,000※	
金 額 300,000円			上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と取り替えにお支払いいたします。	
支払期日 平成○年 7月 8日			平成○年 5月 6日	
支払地 東京銀行			振出地 千葉市若葉区新町×-×	
支払場所 千葉支店			住 所	
振 出 日 平成○年 5月 6日			振出人 稲毛物産(株)	
振出地				
備 考 買掛金支払				
			支払期日 平成○年 7月 8日	
			支払地 千葉県千葉市	
			支払場所 東京銀行千葉支店	



講義を聴いてまとめてください

1. 会計処理

- (1) 証書（手形）を振出した側…**支払手形勘定**
- (2) 証書（手形）を受取った側…**受取手形勘定**



ば用いられる名称です。

3. 支払手形は、振出人の当座預金から引落されて決済されます。
 4. 得意先から約束手形を受取った場合は、支払期日に関係なく、手形に記載された金額を受取手形勘定に計上して下さい。
 5. 手形を保有している会社は、この手形の取立を自からの取引銀行に依頼し、支払期日になれば手形交換所を通じて決済が行われ、自社の当座預金口座へ入金されることになります。
- もし、振出人の資金不足で取立ができなかった場合は、不渡小切手（手形）が発生します。このとき、手形所持人である当社は下記の処理を行います。

不渡発生時：（不 渡 手 形） 80,000 （受 取 手 形） 80,000
 - 資産勘定 -

解答

- | | | | |
|--------------|--------|-----------|--------|
| 1. (仕 入) | 70,000 | (現 金) | 20,000 |
| | | (買 掛 金) | 50,000 |
| 2. (買 掛 金) | 50,000 | (支 払 手 形) | 50,000 |
| 3. (支 払 手 形) | 50,000 | (当 座 預 金) | 50,000 |
| 4. (受 取 手 形) | 80,000 | (売 掛 金) | 80,000 |
| 5. (当 座 預 金) | 80,000 | (受 取 手 形) | 80,000 |



講義を聴いてまとめてください

1. 手形の使用

- (1) 商品の売買時……手形を用いた商品売買
- (2) 掛代金の決算時…売掛金、買掛金の決済に用いる
- (3) 通常のケース……(2)が普通

2. 手形の決済

振出人、受取人も（ 当座預金口座 ）で決済されるのが一般的である。

3. 不渡手形の発生

- (1) 手形振出人…支払手形勘定は（ マイナス ）されない。
- (2) 手形所持人…受取手形を（ 不渡手形勘定 ）に振替える。

為替手形



まずは**本文**をお読みください

1 為替手形とは何か

ある会社がA社に商品を販売し、その売掛金を債権として持っている場合を考えます。この会社は、その売掛金を回収できることはいうまでもありませんが、例えば、当社へ支払う代わりにB社へその代金を支払うことを依頼することもできるはずです。

これを正式に書面にしたものが、^{かわせてがた}**為替手形**であると考えて下さい。つまり、為替手形とは、手形の振出人が、自己の債務者に対して、特定の第三者への支払いを委託する証券ということになります。

為替手形振出の前提

- (1) 振出人である者が債権者であること。
- (2) 振出人が自己の債権の回収の代わりに、その債権を他者への支払いにあてることを目的とすること。
- (3) 支払いを依頼する債務者が、この支払いに同意すること。



講義を聴いてまとめてください

1. 為替手形の本質

債権者が自らの（ **債権決済** ）を取引先に（ **委託** ）する手形である。

2. 振出時の前提の理解

3者間の同意が前提になっている。

- (1) 振出人…**手形作成人**
- (2) 同意人…**代金支払人**
- (3) 受取人…**代金受取人**



講義を聴いてまとめてください

1. 仕訳時のポイント

(振出) (引受呈示) (引受) (受取り) などのキーワードで仕訳を考えること。

(1) 振 出… (手形勘定) は計上されない。

(2) 引受呈示, 引受… (支払手形勘定) を計上する。

(3) 受 取… (受取手形勘定) を計上する。

2. 名宛人

約束手形と為替手形では, 名宛人がまったく逆の立場である。

(1) 約束手形… (手形代金) の受取人

(2) 為替手形… (手形代金) の支払人

3. 仕訳時の注意

問題上の仕訳は, 振出人, 引受人, 受取人のいずれか1社の処理である。

(1) (振出人) …手形を振出 (作成) して, 他社へ渡す (振出す)

(2) (名義人) (引受人) …為替手形に記載された金額の支払に同意する。

(3) 受取人…為替手形を受取る

4. 計上する勘定科目

(1) 振出人…買掛金, 売掛金勘定の相殺

(2) 名宛人 (引受人) … (貸方) 支払手形勘定

(3) 受取人… (借方) 受取手形勘定

5. 決済時の処理

(1) 振出人…仕訳なし

(2) 名宛人 (引受人) …当座預金マイナス

(3) 受取人…当座預金プラス

6. 不渡手形の発生

為替手形の不渡が発生した場合は, (振出人) が, 手形代金を (受取人) に対して (弁済) する義務がある。



解説

A社振出の約束手形が、A社→東京（株）→B社と渡って行く一連の取引です。1は約束手形の振出時の仕訳ですから、すでに学習したように、支払手形勘定と受取手形勘定で処理します。3も同様に決済時の処理ですが、裏書をした東京（株）には関係ない取引なので仕訳が発生しないことに注意しましょう。

2がここで学習した裏書譲渡に関する仕訳になります。東京（株）では、30,000円の仕入が発生し、受取手形20,000円と現金10,000円が減少します。逆に、B社では、30,000円の売上が発生し、受取手形20,000円と現金10,000円が増加します。このとき、A社の手形支払義務には何も変化はありませんから、A社での仕訳は必要ありません。

解答

- | | | | |
|-----------------|--------|-----------|--------|
| 1. A社：（買 掛 金） | 20,000 | （支 払 手 形） | 20,000 |
| 東京：（受 取 手 形） | 20,000 | （売 掛 金） | 20,000 |
| 2. A社：仕訳なし | | | |
| 東京：（仕 入） | 30,000 | （受 取 手 形） | 20,000 |
| | | （現 金） | 10,000 |
| B社：（受 取 手 形） | 20,000 | （売 上） | 30,000 |
| （現 金） | 10,000 | | |
| 3. A社：（支 払 手 形） | 20,000 | （当 座 預 金） | 20,000 |
| 東京：仕訳なし | | | |
| B社（当 座 預 金） | 20,000 | （受 取 手 形） | 20,000 |



講義を聴いてまとめてください

1. 手形譲渡の意味

入金が（ **保証** ）される証券による掛代金などの決済をいう。

2. 処理の考え方

代金回収のできる（ **証券（手形）** ）をマイナスさせる。したがって貸方（ **受取手形** ）とする。

3. 裏書後の決済

手形代金の決済時には、裏書を行った会社では仕訳は発生しない。



解説

2において、手形売却損勘定は次のように計算できます。

$$\text{割引料} : 50,000 \text{ 円} \times 7.3\% \times \frac{40 \text{ 日}}{365 \text{ 日}} = 400 \text{ 円}$$

割引日数は、6月22日から7月31日（両端入）の40日です。

また、3のように手形が無事に決済されたときは、当社の仕訳は特に必要ありません。
ただし、不渡りが発生した場合などは仕訳が必要になります。

解答

1. (受取手形) 50,000 (売掛金) 50,000
2. (当座預金) 49,600 (受取手形) 50,000
(手形売却損) 400
3. 仕訳なし



講義を聴いてまとめてください

1. 手形割引の本質

銀行に対して（手形金額）未満で手形を売買したと考えること。

2. 割引料の試算

(1) 計算式…必ずマスターしておくこと

(2) 割引日数…（両端入）による

(3) 日数計算…30日の月、31日の月を区別する

3. 割引手形の不渡

当社が割引いた手形が不渡りになった場合には、割引先の（銀行）に手形代金を（弁済）しなければならない。



解説

約束手形の回収は、自己の債務の消滅ですから、比較的容易に理解できるはずです。しかし、為替手形の回収は、名宛人である支払人が別に存在することから、取引がわかり難いため、為替手形の回収時の仕訳は、（借方）受取手形勘定と暗記する方が早いかもしれません。

解答

- | | | | |
|-----------|--------|-------|--------|
| 1. (支払手形) | 30,000 | (売掛金) | 30,000 |
| 2. (受取手形) | 40,000 | (売上) | 40,000 |



講義を聴いてまとめてください

1. 自社振出の小切手の回収

自社が振出した小切手が偶然に回収された場合は、他人振出小切手の受入と異なり（借方）を当座預金とする。

- | | | | | |
|----------|----------|-----|---------|-----|
| (1) 振出時… | (× × ×) | ——— | (当座預金) | ——— |
| (2) 回収時… | (当座預金) | ——— | (× × ×) | ——— |

2. 自己引受の為替手形の回収

為替手形の引受呈示による引受を行った場合には、まず引受時の処理を理解していなければならない。

- | | | | | |
|----------|---------|-----|--------|-----|
| (1) 引受時… | (× × ×) | ——— | (支払手形) | ——— |
|----------|---------|-----|--------|-----|

この手形を当社が偶然回収したとすれば、手形代金の支払の必要がなくなるため、（借方）支払手形として処理する。

- | | | | | |
|----------|----------|-----|---------|-----|
| (2) 回収時… | (支払手形) | ——— | (× × ×) | ——— |
|----------|----------|-----|---------|-----|

3. まとめ

証書である小切手、手形が回収された時の借方の勘定科目をマスターすること。

- | | | |
|----------------|-----|------|
| (1) 自社振出の約束手形… | (借) | 支払手形 |
| (2) 自社振出の為替手形… | (借) | 受取手形 |
| (3) 自社引受の為替手形… | (借) | 支払手形 |
| (4) 自社振出の小切手…… | (借) | 当座預金 |



まずは本文をお読みください

4 手形の更改

手形の支払人は、資金繰りの関係から、支払期日の延期を要請することがあります。手形の受取人がこれを承認すれば、支払人は支払期日を延期した新しい手形を振出して、古い手形と交換します。これを手形の更改こうかいといいます。

手形の更改を行う場合は、当初の支払期日から延長した支払期日までの利息や迷惑料として、支払人が受取人に若干の金額を支払うのが一般的です。この金額を現金等で支払う場合と新しい手形代金の中を含める場合があります。

取引例 手形振出人であるA社が、B社宛の約束手形1,000円を更改し、延期分の利息200円を(1)手形金額に含める場合、(2)現金で授受する場合のそれぞれの仕訳は次のようになります。

	A 社（手形振出人）		B 社（手形所持人）	
(1)	(支払手形) 1,000 －旧手形－ (支払利息) 200	(支払手形) 1,200 －新し手形－	(受取手形) 1,200 －新し手形－	(受取手形) 1,000 －旧手形－ (受取利息) 200
(2)	(支払手形) 1,000 －旧手形－ (支払利息) 200	(支払手形) 1,000 －新し手形－ (現金) 200	(受取手形) 1,000 －新し手形－ (現金) 200	(受取手形) 1,000 －旧手形－ (受取利息) 200

(注) 受取利息は収益勘定、支払利息は費用勘定になります。



講義を聴いてまとめてください

1. 更改処理のポイント

- (1) 手形振出人… (借方) 支払手形が古い手形
- (2) 手形所持人… (貸方) 受取手形が古い手形

2. 利息の計上

- (1) 支払利息…手形金額に加算するしないに関係なく (借方) (支払利息) を計上する。
- (2) 受取利息…更改時には、必ず (貸方) (受取利息) を計上する。



手形のまとめ

1. 約束手形と為替手形の違いに注意

- (1) 振出人の処理…支払手形を計上するのは約束手形のみ
- (2) (引受呈示, 引受)…約束手形にはない行為
- (3) (名宛人)…約束手形は受取人, 為替手形は支払人
- (4) 決済時…為替手形は, 振出人に仕訳なし

2. 裏書と割引

いずれの場合も (受取手形勘定) を貸方で (マイナス) させる。割引時の処理は割引料 (手形売却損勘定) の計算方法もマスターしておくこと。

3. 手形の回収

借方に計上される勘定科目を暗記すること。

- (1) 自社振出の約束手形… (借) 支払手形
- (2) 自社振出の為替手形… (借) 受取手形
- (3) 自社引受の為替手形… (借) 支払手形

4. 手形の更改

古い手形が貸借いずれの側で計上されているのか。

- (1) 支払人… (借方) 支払手形が (古い手形)
- (2) 所持人… (貸方) (受取手形) が古い手形

5. 手形不渡

手形は支払人が代金の決済ができなければ, 不渡になったことになる。手形所持人は, この時に (借方) に (資産勘定) である (不渡手形) 勘定を計上しておく。

回収できない時は, 最終的に貸倒扱いとなる。



まずは**本文**をお読みください

3 有価証券の取得

有価証券を取得する方法はさまざまです。最も一般的なのが、証券会社で株式を購入するよ
うなケースでしょう。

有価証券を取得した場合の処理は、取得のために支出した金額に証券会社に対する手数料等を加えた総額を取得原価として、売買目的有価証券勘定の借方に計上することになります。

$$\text{有価証券取得原価} = \text{購入代金} + \text{付随費用}$$

取得原価に手数料等の付随費用を含める考え方は、商品の購入の場合と同様です。

取得時の処理

(売買目的有価証券) ××× (未払金) ×××

-取得原価-



講義を聴いてまとめてください

1. 付随費用

有価証券取得時の付随費用は、取得原価に加算するが、これは商品購入時の（付随費用）と同じ取扱い。

2. 加算する理由

- (1) 発生原因…資産取得時に発生しており（発生原因）が明確
- (2) 収益との対応…有価証券の売却を前提にするため、売却時に収益と（対応）させることが妥当

3. 加算しないもの

売買目的有価証券が利付債券の国債や社債であれば購入時に（**端数利息**）（有価証券利息）を支払う必要がある。この金額は、付随費用ではなく独立した（**有価証券利息**）勘定で処理する。



解説

1. 売買目的で有価証券を取得した場合は、購入時の時価総額に証券会社への手数料を加えた合計額を取得原価として、売買目的有価証券勘定の借方に計上します。

取得原価を計算すると、次のようになります。

$$\begin{array}{lcl} \text{購入価額} & \text{取得株数} & \text{支払手数料} & \text{100株の取得原価} \\ \text{取得原価} & : & @68,000 \text{円} \times 100 \text{株} + 100,000 \text{円} = & 6,900,000 \text{円} \\ \text{1株単価} & : & 6,900,000 \text{円} \div 100 \text{株} = & @69,000 \text{円} \end{array}$$

2. 保有する有価証券を取得原価より高く売っているので、有価証券売却益が生じます。売却益は、1で求めた1株当たりの取得原価69,000円をもとに、次のように算出します。

$$\begin{array}{lcl} \text{売却価額} & \text{取得原価} & \\ \text{有価証券売却益} & : & (@72,000 \text{円} - @69,000 \text{円}) \times 30 \text{株} = 90,000 \text{円} \end{array}$$

3. 有価証券の売却価額が取得原価より安いので、有価証券売却損が生じます。売却損も2の有価証券売却益と同様に、取得原価69,000円をもとにして計算します。

$$\begin{array}{lcl} \text{取得原価} & \text{売却価額} & \\ \text{有価証券売却損} & : & (@69,000 \text{円} - @61,000 \text{円}) \times 40 \text{株} = 320,000 \text{円} \end{array}$$

解答

1. (売買目的有価証券)	6,900,000	(当座預金)	6,900,000
2. (現金)	2,130,000	(売買目的有価証券)	2,070,000
(支払手数料)	30,000	(有価証券売却益)	90,000
	$@72,000 \text{円} \times 30 \text{株} - 30,000 \text{円}$		$@69,000 \text{円} \times 30 \text{株}$
3. (当座預金)	2,400,000	(売買目的有価証券)	2,760,000
(有価証券売却損)	320,000		
(支払手数料)	40,000		
	$@61,000 \text{円} \times 40 \text{株} - 40,000 \text{円}$		$@69,000 \text{円} \times 40 \text{株}$

※2、3の仕訳では、貸借のバランスが合っているかどうか確認することによって、ミスを防ぎましょう。



講義を聴いてまとめてください

1. 支払手数料と手取額

有価証券の売却による手取額は (**売却代金**) から (**支払手数料**) を控除した金額になる。

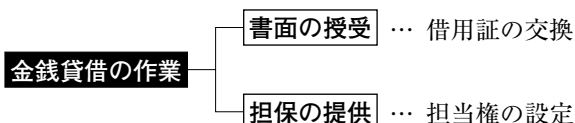
貸付金・借入金



まずは**本文**をお読みください

1 金銭の貸借

お金を借りたり貸したりというのは、私たちも日常生活の中で、友人や家族との間で行うことがあります。少額の貸借では、わざわざ書面を作ったり、担保^{たんぽ}を取るようなことはしないと思いますが、これが会社や銀行の間で行われる金銭の貸借になると、話が違ってきます。金額や返済期限などの事情により、その金銭の貸借の事実を書面に残したり、返済が不能になった場合を考えて担保を提供させたりします。



担保とは、お金を借りた者がその返済をしないとき、お金を貸した者が損をしないように、あらかじめ返済のために確保しておくものです。一般的には、土地などの不動産^{ふどうさん}が担保として提供されることが多いようです。

抵当権^{ていとうけん}というのは、その担保について、優先的に弁償を受ける権利のことで、「この土地は〇〇銀行の抵当権つきだ」などというときは、その土地が担保に提供されていることを意味しています。



講義を聴いてまとめてください

1. 金銭消費貸借契約

会社の借入は、一般的に相当な金額を長期にわたって行うのが一般的です。このような借入を（**長期借入金**）（固定負債）と呼ぶ。

金銭貸借手続として次のことが行われる。

- (1) 契約書の交換…**借用証書**
- (2) 担保…**担当権の設定**

2. 短期借入金

これに対して少額で短期間のものは、上記の担保等が一部省略されることもある。



範 例

手形貸付金・借入金

下記に示す取引の仕訳をA社、B社ともに示しなさい。

1. A社は、B社に対して短期の事業用資金500,000円の借入の申込みをして、同額の約束手形を振出した。利息分30,000円を差引かれ、残額470,000円の現金を受取った。
2. A社は、上記の返済期限が到来したので、500,000円の小切手を振出し借入金を返済し、約束手形の返還を受けた。

解 説

金銭の貸借が手形を用いて行われた場合は、手形貸付金勘定、手形借入金勘定を用いて処理します。かしつけきん貸付金、かりいれきん借入金勘定を用いても誤りではありませんが、前にも説明したように、特別な勘定科目を設けて区別する方がより正しい仕訳といえます。もちろん、受取手形勘定や支払手形勘定を用いて処理した場合は誤りになりますから、注意して下さい。

解 答

- | | | | | |
|---------------|---------|---------|---------|---------|
| 1. A社：(現 | 金 | 470,000 | (手形借入金) | 500,000 |
| | (支払利息) | 30,000 | | |
| B社：(手形貸付金) | 500,000 | (現 | 金) | 470,000 |
| | | (受取利息) | 30,000 | |
| 2. A社：(手形借入金) | 500,000 | (当座預金) | 500,000 | |
| B社：(現 | 金) | 500,000 | (手形貸付金) | 500,000 |



講義を聴いてまとめてください

1. 手形による借入が利用される理由

短期借入に際して借用証書の代用として約束手形が用いられる。

この理由は、次による。

- (1) 借用証書…2通の作成を(**手形1枚**)で代用できる
- (2) 収入印紙…借用証書に貼付すべき収入印紙の金額より手形貼付の印紙代の方が(**少額**)

2. 実務上の処理

実務上は、(**貸付金**)または(**借入金**)勘定で処理される。

未収金・未払金



まずは**本文**をお読みください

1 信用取引

私たちが日頃買物で利用するクレジットカードは、買物をしたその日に代金の決済が行われるわけではありません。これは信用取引すなわち掛取引として後日代金を決済することとして商品売買をしたことに他なりません。

会社では、商品売買以外にも、代金決済を後日に行う契約で取引をすることが多く、高額取引の代金決済では分割により代金の支払いを行うこともしばしば見受けられます。

会社の取引で考えられる掛取引には、次のようなものがあります。

(掛取引が行われるケース)

1. 商品売買
2. 固定資産こていしさんの購入
3. 有価証券の売買
4. 諸経費の後日払
5. 受取手数料などの後日入金



講義を聴いてまとめてください

1. 信用取引の意義

代金を後日決済とする取引を（ **信用取引** ）と呼ぶ。

この信用取引は、売主が買主の（ **債務弁済能力** ）を信頼し商品の販売を行うものである。

現在の商取引では、小売である（ **現金取引** ）以外のものは、その多くがこの信用取引により行われている。

2. 商業簿記上の区分

商業簿記上では、（ **商品** ）に関する信用取引と（ **商品以外** ）の物品等の信用取引を異なる勘定科目で処理することとしている。

2. 商品売買と同時に行われる引取運賃の掛取引ですが、この場合は、仕入分の23,000円は買掛金勘定、引取運賃分の1,000円は未払金勘定で処理します。もちろん、借方の仕入勘定は付随費用である引取運賃を含めて24,000円を記入します。(P.52)
3. 分割払いの場合も、未払金勘定に合計額(8,000,000円)で記入します。
4. 売却代金のうち、手数料を差引いた残額(1,370,000円)が後日入金するわけですから、未収金勘定の借方(資産の増加)に記入します。また、有価証券売却益が生じることに注意しましょう。(P.84)

$$\text{未 収 金} : \overset{\text{売却価額}}{\text{@70,000円}} \times 20 \text{株} - \overset{\text{支払手数料}}{30,000 \text{円}} = 1,370,000 \text{円}$$

$$\text{有価証券売却益} : (\overset{\text{売却価額}}{\text{@70,000円}} - \overset{\text{帳簿価額}}{\text{@60,000円}}) \times 20 \text{株} = 200,000 \text{円}$$

解答

1. (備 品)	18,000	(未 払 金)	18,000
2. (仕 入)	24,000	(買 掛 金)	23,000
		(未 払 金)	1,000
3. (土 地)	10,000,000	(当 座 預 金)	2,000,000
		(未 払 金)	8,000,000
4. (未 収 金)	1,370,000	(有 価 証 券)	1,200,000
(支 払 手 数 料)	30,000	(有価証券売却益)	200,000



講義を聴いてまとめてください

1. 債権・債務の区分

- (1) 売掛金・買掛金…会計上は、(**営業に直接関係**) がある債権、債務として取り扱う
- (2) 貸付金・借入金…(**営業資金調達**) 等のために発生する債権、債務で高額かつ返済が長期のもの
- (3) 未収金・未払金…(1)(2)以外の物品の購入代金など(**少額、短期決済**) の債権、債務

2. 未収金・未払金

(**営業に直接関係ない信用取引**) により発生する債権、債務である。



解説

1. 見本市などへの出展は広告宣伝としての要素が大きいので、当社負担分の25,000円については^{こうこくせんでんひ}広告宣伝費勘定（費用勘定）を使用します。また、B社負担分の25,000円については当社の費用ではないので、立替金勘定を使用します。
2. 立替金の現金回収ですから、（借方）現金勘定、（貸方）立替金勘定で処理します。
3. 従業員からの借入れの申込があった場合は、（従業員）貸付金勘定で処理することも考えられますが、その金額が少額で、かつ短期間で精算されることが明白であれば、立替金勘定で処理する方がよいでしょう。
4. 給料の支払時に立替金の返還を受けたことになるので、（貸方）立替金勘定で処理します。

解答

1. (広告宣伝費)	25,000	(当座預金)	50,000
(立替金)	25,000		
2. (現金)	25,000	(立替金)	25,000
3. (立替金)	30,000	(現金)	30,000
4. (給料)	200,000	(現金)	170,000
- 費用勘定 -		(立替金)	30,000



講義を聴いてまとめてください

1. 立替金勘定の計上

問題文中の指示あり → ～立替で支払った

2. 類似科目

実務上は立替金勘定の代わりに、下記の科目を使用することも誤りではないが、検定試験では区別する。

- (1) 仮払金…(**勘定科目**) 未定
- (2) 未収金…(**対価**) としての未収
- (3) 貸付金…(**金銭債権**) であるかどうか

3. 精算

- (1) 取引先より…(**返済あり**)
- (2) 従業員より…(**給料支払額**) と精算する

**解説**

1. 給料の支給時に控除する租税や社会保険料は、すべて預り金勘定（負債勘定）の増加として処理します。控除額の合計は、151,000円＋210,000円＝361,000円ですから、この金額を預り金勘定の貸方に計上します。
2. 給料から控除した租税や社会保険料には、すべて納期限がありますから、定められた期限には控除した金額を納付します。納付時には預り金勘定が減少しますから、（借方）預り金勘定で処理します。

解答

1. (給 料)	1,750,000	(現 金)	1,389,000
		(預 り 金)	361,000
2. (預 り 金)	151,000	(当 座 預 金)	151,000

**講義**を聴いてまとめてください**1. 預り金勘定の計上**

- (1) 給料支払時 → (**税金, 社会保険料**) の控除分
- (2) 科目の属性 → (**負債**) 勘定

2. 相互関係

- (1) 給料の金額 → 会社での (**費用**) 計上額
- (2) 支給額 → (1)から預り金を控除した金額

3. 計上額

- (1) 税金関係 → (**源泉所得税**), 特別徴収住民税
- (2) 社会保険料関係 → (**健康保険料**) (**厚生年金保険料**) 雇用保険料
- (3) その他 → 生命保険料

4. 支払時

官庁への納付時に (**借方**) で、預り金勘定を計上して消滅させる。


解答

1. (給 料)	500,000	(現 金)	430,000
		(預 り 金)	70,000
2. (預 り 金)	30,000	(現 金)	30,000
3. (法 定 福 利 費)	40,000	(当 座 預 金)	80,000
(預 り 金)	40,000		



講義を聴いてまとめてください

1. 預り金の計上

給料を支給する際に控除される所得税や健康保険料を一括して処理する（**負債**）の勘定科目。

2. 給料の支払額

実際に給料として（**支払われる金額**）は、この預り金勘定を控除した金額が支払われる。

3. 預り金の減少

(1) 税金の納付…（**給料からの控除額**）と同額を納付

(2) 社会保険料の納付…控除額とほぼ同額を会社が負担する。預り金分は、**全額マイナスする**

4. 社会保険料の会社負担額

費用勘定である（**法定福利費勘定**）で処理される。

仮払金・仮受金



まずは本文をお読みください

1 仮払金勘定

現金の支払いをするときに、金額がまだ確定していない場合は、その概算額を仮に支払って、後日これを精算することがあります。このような金銭仮払、精算の方法を、かりばらいきんしやり仮払金処理とか、かりばらいけいり仮払経理といいます。

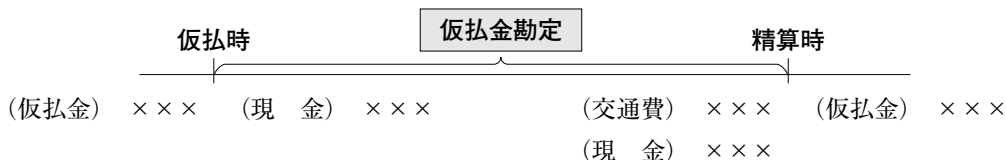
(仮払経理の代表例)

1. 従業員の出張経費
2. 得意先の接待費用
3. 複数または多数の物品の購入資金

仮払金処理では、仮払時から精算時までは、資産勘定である仮払金勘定を用いて支払額を処理します。

仮払金の精算を行う場合は、支出した際の領収証などの明細書に基づいて計算し、残金があれば経理担当者に現金を返します。また、仮払いを受けた金額に不足があれば、その額について経理担当者から現金の支払いを受けます。

精算が終われば、支払った金額やその用途が確定するので、その時点で仮払金勘定から該当する勘定科目に振替えます。



講義を聴いてまとめてください

1. 仮払金勘定の計上

金銭支出時に（金額）が（明確）になっていない場合に用いられる資産勘定。

2. 仮払金勘定の精算

出張等終了後に支出額の（精算）により消滅する。



解答

- | | | | |
|-----------|--------|-------|--------|
| 1. (当座預金) | 20,000 | (仮受金) | 20,000 |
| 2. (仮受金) | 20,000 | (仕入) | 20,000 |



講義を聴いてまとめてください

1. 仮受金勘定の計上

預金口座等へ（ **内容不明** ）の入金があった場合に計上する。

入金的事实は明確であるが、その入金内容が不明である場合に計上する。

2. 仮受金勘定の精算

仮受金は入金（ **内訳** ）が明らかになった時点で（ **借方** ）に計上されて精算する。

3. 仮払金と仮受金の違い

(1) 属性…資産，負債

(2) （ **金額確定** ）の有無…仮払金（未確定），仮受金（確定）

(3) （ **勘定科目確定** ）の有無…仮払金（確定），仮受金（未確定）

4. 実務上の使用

実務上は貸借差額，入出金額の（ **不明点など** ）多くの場合にこの（ **仮払金，仮受金** ）勘定が用いられる。

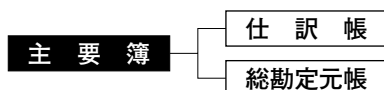
主要簿



まずは**本文**をお読みください

1 主要簿とは何か

簿記は、日々発生する取引を記帳し、これらを集計して損益計算書や貸借対照表を作成することを目的としています。そのためには、1年間の取引のすべてを記入するための帳簿が必要で、この帳簿を**主要簿**^{しゅようぼ}といいます。主要簿とは、次の2つの帳簿のことをいいます。



(注) 補助簿

1年分の取引のすべてを記帳する主要簿に対して、期中の細かな取引内容を詳細に記録しておくための補助簿と呼ばれる帳簿があります。この内容は第5章で学習します。補助簿は会計のためというより、実務上の必要によって記帳するものです。



講義を聴いてまとめてください

1. 簿記の目的

- (1) 会社の取引 → **帳簿に記入すること**
- (2) 記入による結果 → **経営成績や財政状態が把握できる**

2. 2冊の主要簿の役割

- (1) 仕訳帳 → **取引処理の仕訳**
- (2) 総勘定元帳 → (**勘定口座**) (現金勘定等) を1冊に綴^{つづ}った帳簿

3. 主要簿と補助簿の関係

(**主要簿**) (勘定口座) の内訳等を補う目的で各企業が必要に応じて補助簿を用意する。



解答

仕 訳 帳

日付	摘 要	元丁	借 方	貸 方
6 2	(仕 入)	35	500,000	
	(買 掛 金)	18		500,000
	A社より甲商品 (@1,000円) 500個仕入			
7	(給 料) 諸 口	36	200,000	
	(現 金)	1		170,000
	(預 り 金)	22		30,000
	給料に関する支払い			
7 5	諸 口 諸 口			
	(未 収 金)	8	95,000	
	(支 払 手 数 料)	41	5,000	
	(有 価 証 券)	5		80,000
	(有価証券売却益)	52		20,000
	A社の株式の売却			



講義を聴いてまとめてください

1. 記入ルールのマスター

実際に試験には出題されませんが下記の点に注意すること。

- (1) 日付…(**取引日付**) の記載
- (2) 左右の区別…借方と貸方を左側；右側に (**区別**)
- (3) 元丁欄…金額を勘定口座に転記したら勘定口座の (**页数**)
- (4) 小書…取引内容の (**コメント**) を入れる
- (5) 境界線… (**仕切線**) を取引ごとに入れる

2. 摘要欄の諸口

借方または貸方の勘定科目が複数になったら、摘要欄内で諸口と記入する。



解説

4月5日の取引により当座勘定がマイナス残（当座借越の状態）になるため、残高式の「借／貸」の欄の記入は貸と記入します。日付欄，摘要欄の相手勘定科目の記入は，従来のT字型勘定と同様のルールによって記入して下さい。

4月2日：（当 座） 50,000 （売 掛 金） 50,000

4月5日：（買 掛 金） 150,000 （当 座） 150,000

↓
当座借越が発生する

解答

(1) 標準式

当 座 勘 定

日付	摘 要	仕 丁	借 方	日付	摘 要	仕 丁	貸 方
4 2	売 掛 金		50,000	4 5	買 掛 金		150,000

(2) 残高式

当 座 勘 定

日付	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
	(省略)				借	70,000
4 2	売 掛 金		50,000		〃	120,000
5	買 掛 金			150,000	貸	30,000



講義を聴いてまとめてください

1. 標準式

この様式は従来学習した（ T字型 ）による（ 勘定口座 ）とまったく同じと考えてよい。

2. 残高式

一般的（実務上）の勘定口座は，この残高式である。

実際の記入に際しては，（ 「借／貸」 ）の欄の意味にも注意すること。

伝票会計

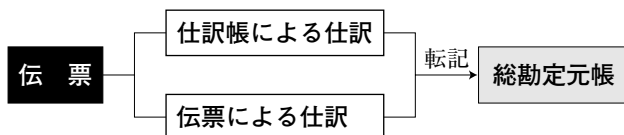


まずは**本文**をお読みください

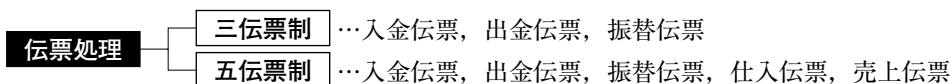
1 伝票会計とは？

総勘定元帳の各勘定口座への記入のための取引の原始記帳は、仕訳帳を用いるのが原則で、学習上も仕訳帳を使用する前提で話を進めてきました。

しかし、実務上では仕訳帳を用いての仕訳はまったく行われません。これは伝票を用いる方法が一般的に定着しているからです。つまり、伝票を用いて仕訳し、総勘定元帳に転記するわけです。



また、伝票による仕訳の方法には、3種類の伝票を用いる**三伝票制**と、これに2種類の伝票を追加して、5種類の伝票を用いる**五伝票制**の2通りの方法があります。



講義を聴いてまとめてください

1. 会計伝票の使用目的

(**仕訳**) のための帳票である。

2. 元帳への転記

伝票から (**勘定口座**) に直接行う。



取引例 6月2日に現金売上が50,000円あり、6月7日に交際費15,000円を現金で支払った。これを入金、出金伝票に記入し、各勘定口座に転記しなさい。

入金伝票 No.25 平成○年6月2日 (売上) 50,000	出金伝票 No.31 平成○年6月7日 (交際費) 15,000
--	---

現金	
6/2入金伝票 50,000	6/7出金伝票 15,000
交 際 費	売 上
6/7出金伝票 15,000	6/2入金伝票 50,000

取引例 8月4日に備品60,000円を購入し、代金は後日払いとした。

振替伝票 No.94 平成○年8月4日 (備品) 60,000 (未払金) 60,000

備 品	未 払 金
8/4振替伝票 60,000	8/4振替伝票 60,000

(注) 通常の仕訳帳から勘定口座への転記と異なり、日付、相手勘定科目、金額のうち、相手勘定科目の代りに、転記のもとになった伝票の名称を記入する方法が一般的です。これは慣習であって、絶対に伝票の名称を用いなければならないというわけではありません。

残高型の元帳であれば、下記のように転記されます。この際に「仕丁」欄には転記の基礎になった伝票ナンバーが記入されます。この勘定口座への転記は、日商簿記検定3級でも出題されることがあります。

		現金					
日付	摘要	仕丁	借方	貸方	借	貸	残高
6/2	入金伝票	25	50,000		借		50,000
6/7	出金伝票	31		15,000		〆	35,000



講義を聴いてまとめてください

1. 各種伝票から元帳への転記方法

- (1) 直接転記… (**伝票**) ごとに個々に転記
- (2) 日計表より転記… 1日の伝票を集計して、各勘定科目ごとに (**転記**) を行う。

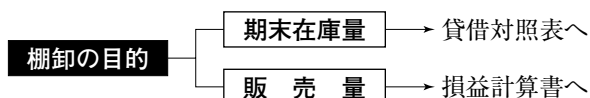
期末商品の棚卸



まずは**本文**をお読みください

1 商品棚卸の目的

棚卸とは、文字通り商品の在庫を調査することを意味しますが、棚卸の目的は次の2つの量を明らかにすることといえます。



棚卸によって確定した期末の在庫量は、貸借対照表に期末の棚卸商品として計上します。また、期末の在庫量をもとにして期中に販売された商品量を計算し、その原価を求めて、これを損益計算書に計上します。

この販売された商品の原価のことを**売上原価**と呼びます。簿記ではとても大事な考え方です。この売上原価の計算方法については次頁以降で詳細を学習します。



講義を聴いてまとめてください

1. 商品原価の重要性

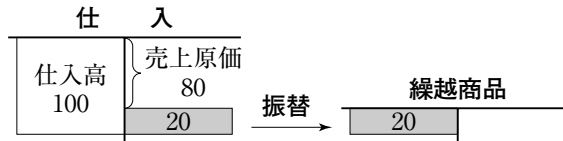
- (1) 期末在庫として…**財産価値あり**
- (2) 販売量…**販売品原価**

2. 棚卸による把握

- (1) 実地棚卸…**期末在庫量を把握**
- (2) 販売原価…**差引計算で原価を把握**

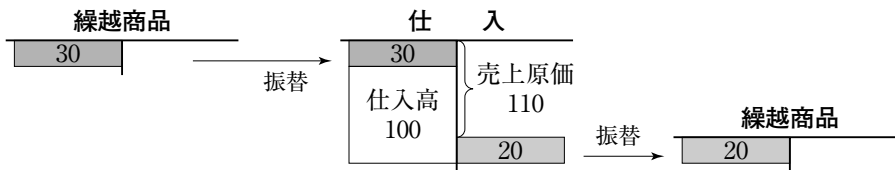
3. 棚卸資産

商品他、棚卸が行われる資産は全て棚卸資産である。



実際には、期首商品棚卸高も存在するはずですから、この金額も考慮しなければ、当期中の正しい売上原価を算出することはできません。

上の例で、期首商品棚卸高が30円であったとすると、売上原価は次のようにして求めることができます。



$$\begin{array}{rclclcl} & \text{期首商品棚卸高} & & \text{当期仕入高} & & \text{期末商品棚卸高} & & \text{売上原価} \\ \text{売上原価：} & 30\text{円} & + & 100\text{円} & - & 20\text{円} & = & 110\text{円} \end{array}$$

これを仕訳で示すと、次のようになります。

期首商品の振替：（仕 入） 30 （繰 越 商 品） 30
 期末商品の振替：（繰 越 商 品） 20 （仕 入） 20

この仕訳は、三分割法が採用されている場合の決算で行われる仕訳です。簿記では、このような仕訳を^{けっさんせいりしわけ}決算整理仕訳と呼びます。



講義を聴いてまとめてください

1. 売上原価の把握

- (1) 期首商品棚卸高…前期末＝当期首の在庫
- (2) 当期商品仕入高…期中仕入高
- (3) 期末商品棚卸高…期末の在庫

2. 使用する勘定科目（三分割法）

- (1) 繰越商品…資産勘定
- (2) 仕 入…費用勘定
- (3) 売 上…収益勘定



範 例

商品棚卸

下記に示す資料を参考にして、決算整理仕訳を示しなさい。なお、期末商品の棚卸高は6,000円とする。(決算日：3月31日)

資 料

繰越商品	
4/1前期繰越	4,000
仕 入	
諸 口	80,000

解 説

商品売買を三分割法で処理している場合には、期末に繰越商品に関する決算整理仕訳が行われます。この仕訳により、仕入勘定で売上原価が計算されます。

繰越商品		仕 入	
4/1 前期繰越 4,000	3/31 仕 入 4,000	諸 口 80,000	3/31 繰越商品 6,000
3/31 仕 入 6,000		3/31 繰越商品 4,000	売上原価 78,000※

$$\text{※売上原価} = \text{期首商品 } 4,000 \text{ 円} + \text{当期商品仕入高 } 80,000 \text{ 円} - \text{期末商品 } 6,000 \text{ 円} = 78,000 \text{ 円}$$

解 答

(決算整理仕訳)

(仕 入)	4,000	(繰 越 商 品)	4,000 ……①
(繰 越 商 品)	6,000	(仕 入)	6,000 ……②



講義を聴いてまとめてください

1. 決算整理の仕訳パターン

(仕) → (繰) → (繰) → (仕)

2. 仕訳の目的

仕入勘定で (売上原価) を計算するため。



まずは**本文**をお読みください

3 貸倒引当金の繰入

貸倒引当金の設定は、期末に計上されている受取手形と売掛金の未回収額に一定の割合を乗じた金額で計上することとされています。

$$\text{貸倒引当金繰入額} = (\text{受取手形残高} + \text{売掛金残高}) \times \text{繰入率} (\%)$$

(注) 貸倒引当金の繰入率は、過去における貸倒発生率から企業ごとに決定すべきであるが、日商簿記検定では繰入率が与えられるので、その割合をそのまま用いればよい。



貸倒引当金繰入

範 例

期末において、受取手形勘定 400,000 円、売掛金勘定 600,000 円が未回収であった。これらの残高に 3% の貸倒引当金を計上するものとする。この取引の仕訳を示しなさい。

解 説

期末において未回収の受取手形と売掛金の残高に繰入率（3%）を乗じて、貸倒引当金の繰入額を計算します。

$$\begin{array}{ccc} \text{受取手形} & \text{売掛金} & \text{繰入率} \\ \text{繰入額} : (400,000 \text{ 円} + 600,000 \text{ 円}) \times 3\% = 30,000 \text{ 円} \end{array}$$

解 答

(貸倒引当金繰入) 30,000	(貸 倒 引 当 金) 30,000
－費用勘定－	－評価勘定－



講義を聴いてまとめてください

1. 貸倒引当金勘定

受取手形、売掛金を（ **マイナス評価** ）する勘定。

解説

貸倒が発生した受取手形、売掛金の金額と貸倒引当金勘定の残高を比較して、それぞれの状況により会計処理を行います。

解答

1. (貸 倒 損 失)	150,000	(売 掛 金)	150,000
2. (貸 倒 引 当 金)	120,000	(受 取 手 形)	120,000
3. (貸 倒 引 当 金)	170,000	(売 掛 金)	200,000
(貸 倒 損 失)	30,000		



講義を聴いてまとめてください

1. 貸倒引当金と貸倒損失勘定

- (1) 前期分債権の貸倒…**貸倒引当金勘定**
- (2) 当期分債権の貸倒…**貸倒損失勘定**
- (3) 貸倒引当金勘定が不足する場合…**貸倒損失勘定**

2. 評価勘定としての貸倒引当金

受取手形、売掛金は一部回収不能の可能性がある。これを貸方で、貸倒引当金という評価勘定で示している。

(借方)		(貸方)
受取手形	←	一部回収不能
売掛金		可能性あり

3. 貸借対照表での表示方法

債権から控除する形式で表示する → P.218 参照



講義を聴いてまとめてください

1. 貸倒引当金計上時の注意点

- (1) 受取手形、売掛金の残高…期末に修正仕訳により増減することがあるので
(残高試算表の金額) をそのまま使用できないことがある。
- (2) 貸倒引当金の残高…(期末) に (一部減少) することがあるので注意すること。
- (3) 貸倒引当金戻入の計上…貸倒引当金の残高が多い場合には (貸倒引当金戻入) が計上されることもある。

2. 貸倒引当金繰入勘定

下記のような繰入に関する勘定科目を使用することも認められている。

- (1) (貸倒引当金繰入額)
- (2) (貸倒引当損)
- (3) 貸倒償却

ただ一般的には貸倒引当金繰入勘定を用いること。

3. 償却済債権取立益勘定

前期以前に貸倒として処理した債権の一部が後日回収されることとなった場合には、回収額を収益勘定である (償却済債権取立益) 勘定で処理する。

回収時の処理

(現	金)	×××	(償却済債権取立益)	×××
－収益勘定－				

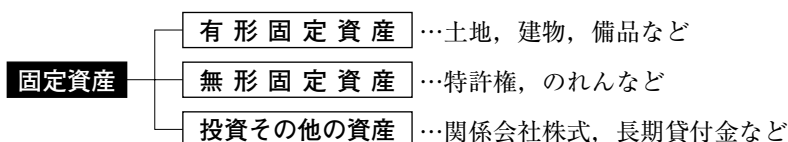
減価償却



まずは**本文**をお読みください

1 固定資産

貸借対照表では、資産を^{りゅうどうしさん}流動資産、^{こていしさん}固定資産、^{くりのべしさん}繰延資産の3つに分類することとしています。固定資産は、さらに下記の3つに分けられます。



有形固定資産とは、企業が長期にわたり営業に使用することを目的とする有形の資産です。また、**無形固定資産**とは、その名の通り形のない資産であり、法律上の権利（特許権，商標権など）と経済的な価値（のれん）を意味します。**投資その他の資産**とは、流動資産にも、有形・無形固定資産，繰延資産にも該当しない資産であり，子会社の株式，投資用の有価証券，長期貸付金や更生（^{こうせい}破産）^{はさん}債権などがあります。



講義を聴いてまとめてください

1. 資産の分類

- (1) 流動資産…現金，受取手形，商品，売買目的有価証券など
- (2) （ **固定資産** ）
 - ① （ **有形固定資産** ）
 - ② 無形固定資産
 - ③ 投資その他の資産
- (3) 繰延資産（2級以上で学習）

2. 有形固定資産

実体のある（ **営業用** ）に用いる財産を示す。



まずは本文をお読みください

2 減価償却資産

有形固定資産は、土地などのように時の経過とともに減価しない**非減価償却資産**と、建物や備品のように時の経過とともに価値が減少する**減価償却資産**に分けることができます。

有形固定資産の種類

勘定科目	内 容
建 物	営業用の建物およびその付属設備一式を処理する勘定科目
機械・装置	工場で使用される機械・装置等を処理する勘定科目
車両運搬具	営業活動で使用する自動車、オートバイなどを示す
工具・器具・備品	工場や建設作業で用いられる工具・器具類や販売活動の中で使用される備品などを示す
構 築 物	営業活動に使用される土木工作物・建築物（塀、看板、広告塔など）を示す



講義を聴いてまとめてください

1. 一般的な勘定科目

有形固定資産には、上記以外にもさまざまな勘定科目があるが、3級受験に際して用いられる勘定科目は、下記のような科目である。

- (1) (備 品)
- (2) (車両運搬具)
- (3) (建 物)

2. 非減価償却資産

(土地) は、使用によりその価値が減少しないので、(減価償却費) を計上する必要はない。



解説

1. 固定資産の購入に際して発生する付随費用には、仲介手数料のようなものから、試運転費用、据付費などさまざまなものが考えられます。通常、購入に際して費用が発生している旨の記述があれば、これを付随費用と考えて取得原価に加算してかまわないでしょう。
2. 230,000 円の支出のうち、80,000 円は改良に関する支出として、車両の価額に加算します。残りの 150,000 円は修繕費勘定で処理します。

解答

1. (建	物)	2,150,000	(未払金)	2,000,000
			(現金)	150,000
2. (車	両)	80,000	(現金)	230,000
	(修繕費)	150,000		



講義を聴いてまとめてください

1. 付随費用の取扱い

有形固定資産は、営業用のために使用することを目的にして取得する。このため固定資産取得のための付随費用は、取得時の会計期間の費用とするのではなく、(**固定資産の原価**) として、後日 (**減価償却**) により各会計期間に (**費用配分**) をすることが妥当である。

このため固定資産取得時の付随費用は、固定資産の取得原価に算入することとされている。

2. 修理のための支出

第1問で仕訳問題として出題される。問題上は、下記の表現が使われる。

- (1) 耐用年数が延長、価値増加…**資本的支出**
- (2) 現状回復のための支出…**収益的支出**

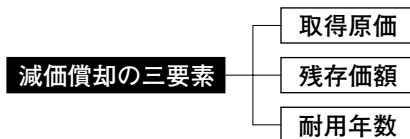


まずは**本文**をお読みください

4 減価償却

有形固定資産は、土地などの一部の資産を除いて、営業活動に使用することにより、その価値は少しずつ減少します。簿記では、この価値の減少部分を費用として考え、これを**減価償却**（げんかしょうきやく）という方法により計算します。この減価償却によって発生する費用を、**減価償却費**と呼びます。

減価償却の計算は見積計算であり、下記の3つの要素に基づいて行われます。



（注）**残存価額**（ざんぞんかかく）は、**耐用年数到来時**（たいようねんすうたらいじ）の処分予想価額を意味しますが、一般的には取得原価の10%とされています。また、**耐用年数**は、その固定資産の利用可能年数を意味します。



講義を聴いてまとめてください

1. 費用配分手続

減価償却とは固定資産の（**取得原価**）を（**耐用期間**）において費用化する手続である。

2. 概算計算

減価償却は見積による（**概算計算**）であるため、計算要素を事前に確定しておかなければ（**客観的**）な計算ができない。

3. 課税の公平

税法では、課税を公平に行うという主旨で、上記の（**三要素**）の金額、年限を定めており、会計も一般的にはこれらの数値を基礎にして減価償却を行う。

解説

固定資産を会計期間の途中で取得した場合には、取得日から期末までの期間に対応する分の減価償却費を計上します。その日が月の途中であるときは、その月は1ヵ月分として計算することとされています。2では、10月24日から10月31日までの8日間を1ヵ月として計算し、期末まで3ヵ月分の減価償却費を計上することになります。

解答

1. $\frac{2,000,000 \text{ 円} - 2,000,000 \text{ 円} \times 0.1}{6 \text{ 年}} = 300,000 \text{ 円}$
2. $\frac{1,500,000 \text{ 円} - 1,500,000 \text{ 円} \times 0.1}{5 \text{ 年}} \times \frac{3 \text{ ヵ月}}{12 \text{ ヵ月}} = 67,500 \text{ 円}$



講義を聴いてまとめてください

1. 具体的な計算方法

取得原価から残存価額（10％）を控除して、耐用年数で除すため電卓では次のような方法で計算する。

計算方法：（ **取得原価** ）×（ **0.9** ）÷（ **耐用年数** ）

2. 期中取得，除却等

固定資産は、1日でも使用すれば1ヵ月分の減価償却費を計上しなければならない。

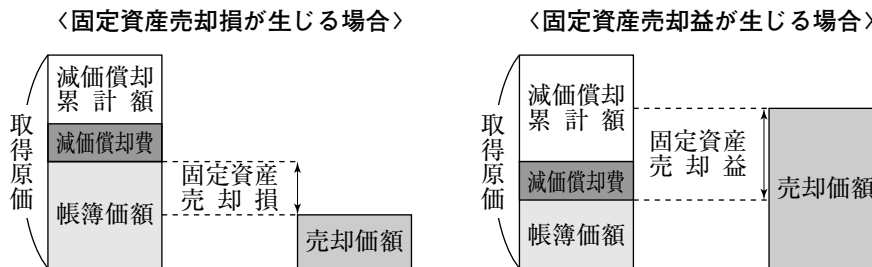
- (1) 5月31日取得… **5月31日の1日分を1ヵ月とする**
- (2) 8月1日除却… **8月1日の1日分を1ヵ月とする**



まずは本文をお読みください

8 期中の売却

固定資産が期中で売却される場合には、期首から売却時までの減価償却費を控除した金額が、売却時の帳簿価額になります。



取引例 期中において車両（取得原価500,000円、期首減価償却累計額270,000円）を150,000円で売却して代金は後日受取ることとした。なお期首から売却時までの減価償却費30,000円を考慮すること。

売却時：（未収金） 150,000 （車両） 500,000
 （減価償却費） 30,000
 （減価償却累計額） 270,000
 （車両売却損） 50,000

金額の内訳は、次のように考えることができます。

売却時の帳簿価額：（500,000円－270,000円）－30,000円＝200,000円

備品売却損：200,000円－150,000円＝50,000円



講義を聴いてまとめてください

1. 売却時の帳簿価額

（期首）から（売却時）までの減価償却費を計上する。

売却時の帳簿価額：取得原価－減価償却累計額－（減価償却費）

2. 月中の売却

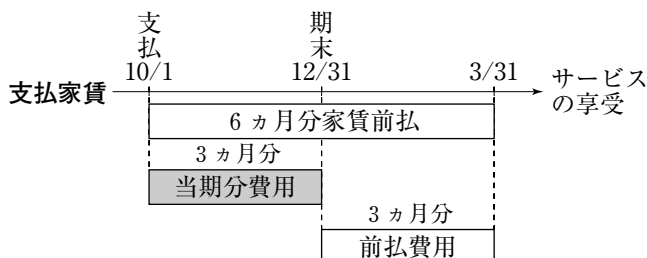
月初1日でも1ヵ月分の減価償却費を計上する。

7月1日 → 7月1日の1日分を1ヵ月分とする



1. 前払費用のケース

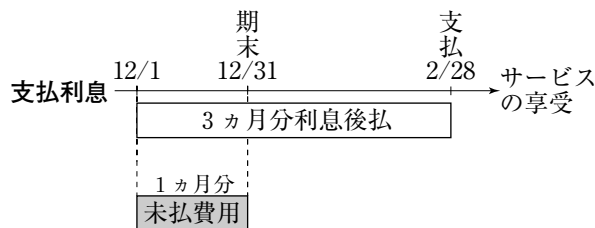
半年分の家賃を10月1日に前払いし、12月31日が決算日の場合は、翌年分が過払いになっています。



決算整理仕訳：(前払家賃) ××× (支払家賃) ×××
 - 資産勘定 -

2. 未払費用のケース

12月1日資金を借入れ、3ヵ月後の2月末の返済時に利息の支払いをする場合は、12月分1ヵ月の利息の計上をしなければなりません。



決算整理仕訳：(支払利息) ××× (未払利息) ×××
 - 負債勘定 -



講義を聴いてまとめてください

1. 前払・未払費用処理のポイント

- (1) 資産とする考え方…前払費用は(資産)勘定であり(借方)である
- (2) 負債とする考え方…未払費用は(負債)勘定であり(貸方)である

2. 仕訳パターンとして暗記

前払費用の他にこれから類似する仕訳が2つ出てくるが、この前払費用が一番基本であり重要なため下記の仕訳を暗記してしまう。

決算整理仕訳

(前払費用) ××× (〇〇〇費) ×××
 - 資産勘定 - - 費用マイナス -



講義を聴いてまとめてください

1. 経過勘定項目

簿記では4つの経過勘定項目がある。

(1) (前払) 費用

(2) (未払) 費用

(3) (未収) 収益

(4) (前受) 収益

次のセクションで説明

(注) 消耗品費, (消耗品) は経過勘定項目ではない。

2. 経過勘定項目が発生する事情

期中の現金主義記帳を発生主義へ修正するための手続。

《継続するサービス》

(1) 期中処理…(現金主義) 記帳

(2) 決算整理…現金主義を(発生主義)と同様の結果にするための修正仕訳を行う。

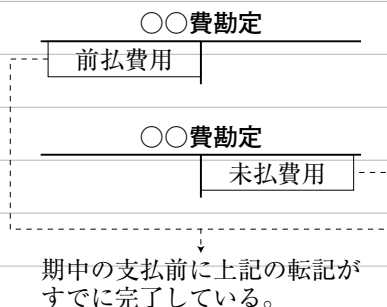
3. 前払, 未払の考え方

(1) 基本…費用をマイナスするのか, プラスするのか

(2) 前払費用の属性…(資産) 勘定

(3) 未払費用の属性…(負債) 勘定

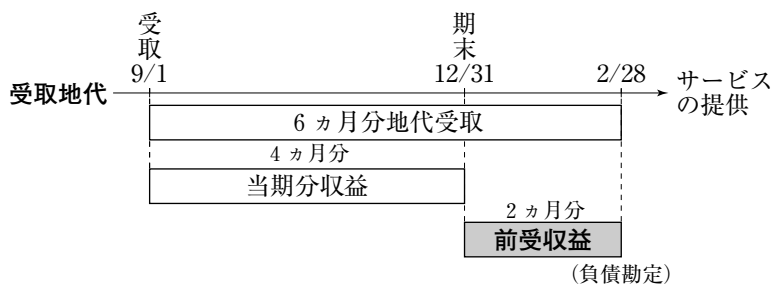
4. 再振替仕訳後の費用勘定





1. 前受収益のケース

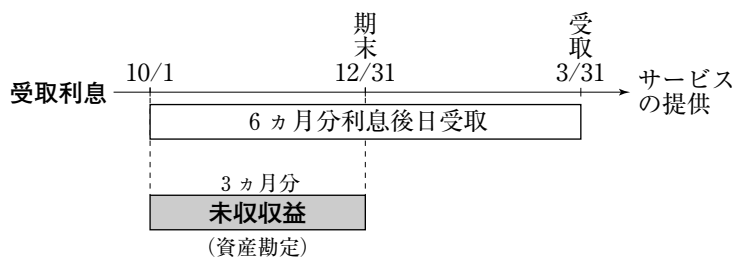
6ヵ月分の家賃を9月1日受取っている場合は、翌年2ヵ月分が超過収入になっています。



決算整理仕訳：(受 取 地 代) ××× (前 受 地 代) ×××

2. 未収収益のケース

10月1日に貸付た金銭の利息を3月31日に受取る場合は10月1日から12月31日までの3ヵ月分が未収入ということになります。



決算整理仕訳：(未 収 利 息) ××× (受 取 利 息) ×××



講義を聴いてまとめてください

1. 未収，前受収益処理のポイント

収益をプラスするかマイナスするかで考える。

(1) 未収収益…収益をプラスするため (収益) 勘定を (貸方) に計上する。

(2) 前受収益…収益をマイナスするため (収益) 勘定を (借方) に計上する。

2. 科目の属性で考える

これに対して，未収，前受収益の属性で考える方法もある。

(1) 資産とする考え方…未収収益は (資産) 勘定であり (借方) である。

(2) 負債とする考え方…前受収益は (負債) 勘定であり (貸方) である。



まずは本文をお読みください

2 不一致の原因がわかったら

現金の帳簿残高と実際有高との不一致は、支払または収入のいずれかの取引記帳もれから発生しているはずです。そこで、この不一致の原因を明らかにするために、当然調査を行います。

これによって、原因が明らかになった場合は、その時点で中間勘定である現金過不足勘定から該当する勘定科目への振替処理を行います。それぞれの処理方法は次のようになります。

1. 不足のケース（帳簿残高＞実際有高）

現金で交通費を支払っていたことを記帳していなかった場合

会計処理：（交 通 費） ××× （現 金 過 不 足） ×××

2. 超過のケース（帳簿残高＜実際有高）

受取手数料の現金受取りが記帳もれだった場合

会計処理：（現 金 過 不 足） ××× （受 取 手 数 料） ×××



講義を聴いてまとめてください

1. 過不足の発生時

問題では帳簿残高と実際残高の両方が与えられるので、不足しているのか超過しているのかを適切に判断する。

(1) 不足している…（貸方）現金でマイナス

(2) 超過している…（借方）現金でプラス

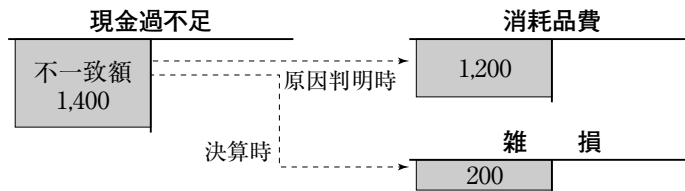
仕訳をする際は、上記の（借方、貸方）現金の方を優先して仕訳し、相手科目として現金過不足勘定を計上する。

2. 中間勘定

現金過不足勘定は、（期中でのみ使用）され、資産勘定などの特別な属性を持たない（中間）勘定という独特な勘定科目である。

解説**設問1**

現金の不足額 1,400 円が発生した時点では、現金過不足勘定を使用して現金の実際有高と帳簿残高を一致させます。この後で原因が判明したものは該当する勘定科目へ振替えますが、原因が判明しないものは決算において雑損勘定へ振替えられることになります。

**設問2**

現金過不足勘定は、中間勘定に属する勘定科目です。資産、負債、純資産、収益、費用の5つの要素のいずれにも属さない特殊な勘定科目といえます。

中間勘定の大きな特徴は、期中でしか使用できないという点です。これは、中間勘定が資産から費用の5つの要素に属さないため、貸借対照表、損益計算書へ計上することができないからです。

中間勘定の意味するところを理解しておいて下さい。

解答**設問1**

(1) (現金過不足)	1,400	(現金)	1,400
(2) (消耗品費)	1,200	(現金過不足)	1,200
(3) (雑損)	200	(現金過不足)	200

設問2

(1) (現金)	3,000	(現金過不足)	3,000
(2) (現金過不足)	2,000	(受取手数料)	2,000
(3) (現金過不足)	1,000	(雑益)	1,000



講義を聴いてまとめてください

1. 中間勘定としての現金過不足

中間勘定であるため必ず (**決算整理仕訳**) により (**消去**) させなければならない。

2. 決算整理仕訳

現金過不足勘定を (**雑損**) または (**雑益**) 勘定へ振替えること。



まずは本文をお読みください

3 有価証券の評価

有価証券の取得原価と時価を比較すると、値上りしている場合と値下りしている場合の両方が考えられます。いずれの場合であっても、決算においてはその差額を有価証券評価損益勘定として計上します。

決算における有価証券の評価

状 況	決 算 整 理 仕 訳			
値上り	(売買目的有価証券)	× × ×	(有価証券評価損益)	× × ×
値下り	(有価証券評価損益)	× × ×	(売買目的有価証券)	× × ×

また、2銘柄以上の有価証券を所有していて、それぞれ値上り、値下りが発生しているときは、損益計算書には有価証券評価損益勘定の貸借差額を計上します。つまり、トータルで考えて有価証券評価損または有価証券評価益のいずれかを一括して計上します。

(考え方)

有価証券評価損益

A株の損	C株の益
	D株の益
B株の損	評価損 (差額)

損益計算書にはこの部分だけを計上する



講義を聴いてまとめてください

1. 時価評価

売買目的有価証券は、一括して期末における時価で評価する。

(1) 銘柄別評価…個々に評価しない

(2) 一括評価…一括して評価する

2. 回復の可能性の有無

有価証券の時価変動が、何らかの理由による影響を受けて、一時的に下落または高騰しており、近日中に帳簿価額に戻ると予想されることがある。

このような時でも、売買目的有価証券は、基本的に必ず期末には（時価）をもって評価すること。



まずは**本文**をお読みください

2 期中処理

事業主の個人的な理由での事業用資金の持ち出しや販売用商品の消費があった場合は、期中はこれを**引出金勘定**^{ひきだしきん}によって処理します。この引出金勘定は**評価勘定**と呼ばれる勘定科目に分類されます。(☞ 評価勘定：貸倒引当金⇒P.127, 減価償却累計額⇒P.141)

期中処理：(引 出 金) ××× (現 金) ×××
(引 出 金) ××× (仕 入) ×××

商品の場合は仕入を
マイナスする

また、引出金勘定を使用せずに**直接資本金勘定からマイナス**する処理が行われることもあります。もちろん、この処理も誤りではありません。

(引出金勘定が用いられるケース)

1. 事業主の個人的な飲食のための支出
2. 販売用の商品の自家消費
3. 事業主およびその親族の個人的物品の購入
4. 店舗併用住宅の住宅部分の家賃、水道光熱費
5. 事業主に係る所得税、住民税の納付



講義を聴いてまとめてください

1. 引出金勘定

(**個人経営**) であるがゆえの支出や消費があり、これを簿記として記帳しなければならないために使用する勘定科目。

2. 評価勘定

評価勘定は、ある勘定をマイナス評価する役割をする。他の評価勘定と比較してみる。

- (1) 貸倒引当金…受取手形, 売掛金
- (2) 減価償却累計額…固定資産
- (3) 引出金…(**資本金**)



3. 40%部分は引出金勘定ですが、店舗用の60%部分は支払家賃を計上します。
 4. 1～3までの引出金90,000円（下記参照）を資本金と相殺するための仕訳をします。

引 出 金				
1. 仕	入	20,000	4. 資 本 金	90,000
2. 現	金	30,000		
3. 現	金	<u>40,000</u>		
		<u>90,000</u>		<u>90,000</u>

5. 上記の引出金90,000円を振替た後の資本金勘定は次のようになっている。

資 本 金			
12/31 引 出 金	90,000	1/1 前期繰越	3,000,000
残 高	2,910,000		

解 答

1. (引 出 金) 20,000 (仕 入) 20,000
 2. (引 出 金) 30,000 (現 金) 30,000
 3. (引 出 金) 40,000 (現 金) 100,000
 (支 払 家 賃) 60,000
 4. (資 本 金) 90,000 (引 出 金) 90,000
 5. 資本金の額 → 2,910,000円



講義を聴いてまとめてください

1. 追加出資の取扱い

期中において運転資金不足などの事情により追加出資が行われた場合には、直接（ **資本金** ）を増加させます。

追加出資時

(現 金) ××× (資 本 金) ×××

期中の引出しがあった場合は、評価勘定を用いて間接的な処理をするが、増資は期中で資本金を増加させるため、その取扱いが異なる。

2. 当期純利益の振替

資本金勘定は、この引出金勘定の精算の他に、さらに（ **決算振替仕訳** ）により、損益勘定から当期純利益が振替えられる。(P.174参照)

総勘定元帳の締切

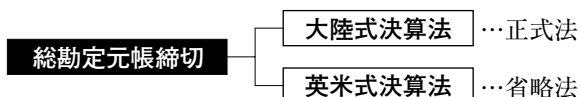


まずは本文をお読みください

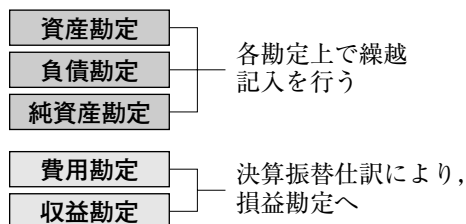
1 総勘定元帳の締切

一会計期間のすべての記帳が終了したら、総勘定元帳における各勘定科目を締切ってこの期間に区切りをつけます。これがまさに決算と呼ばれる作業です。この結果として、簿記の目的である財政状態や経営成績を明らかにすることができるわけです。

総勘定元帳を締切の方法には、えいべいしきけっさんほう英米式決算法とたいりくしきけっさんほう大陸式決算法の2つがあります。現在では簡便な英米式決算法が一般的でこの本でもこちらを使います。



英米式決算法では5種類の勘定科目のうち、費用と収益に属する勘定科目を集合勘定である損益勘定に振替えます。残りの3つは各勘定上で次期への繰越記入をします。



講義を聴いてまとめてください

1. 元帳締切の3つの手続（英米式決算法）

- (1) 損益勘定の作成…（費用、収益諸）勘定の振替
- (2) 当期純利益の振替…（損益）勘定から（資本金）勘定への振替
- (3) 資産、負債および純資産の締切…繰越記入

2. 大陸式と英米式決算法の違い

大陸式は、資産、負債および純資産を残高と呼ばれる（集合）勘定に振替える。



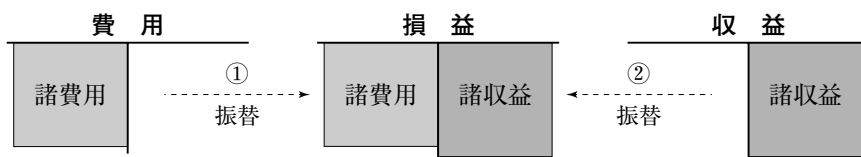
まずは本文をお読みください

2 損益勘定

費用勘定と収益勘定は、一会計期間の経営成績を表す損益計算書のもとになるものです。これらを集計するのが集合勘定である**損益勘定**で、諸費用の合計と諸収益の合計を1つの勘定にまとめるために振替を行います。この振替仕訳を**決算振替仕訳**といいます。

決算振替仕訳

- ①費用勘定：(損 益) ××× (費 用) ×××
 ②収益勘定：(収 益) ××× (損 益) ×××



決算振替仕訳は、前章の第3章で学習した決算整理仕訳とは異なる仕訳です。決算整理仕訳は、期中の帳簿修正のための重要な仕訳です。しかし、この決算振替仕訳は勘定を締切するための特殊な仕訳と考えて下さい。



講義を聴いてまとめてください

1. 損益勘定の属性

決算において作成される損益勘定の属性は集合勘定と呼ばれる。この集合勘定は、ここで初めて学習する属性の科目である。決算日1日だけのため、あるいは(**当期純利益**)を計上するための特殊な勘定科目と考えてよい。

2. 借方と貸方の計上項目

- (1) 費用勘定…(**借方**)へ振替える
 (2) 収益勘定…(**貸方**)へ振替える

2. 損益勘定

		損		益		
費用	12/31	仕入	70,000	12/31	売上	150,000
	〃	給料	40,000	〃	受取利息	40,000
	〃	交通費	20,000	〃	受取家賃	10,000
	〃	保険料	5,000			
	〃	資本金	65,000			
当期純利益			<u>200,000</u>	一致		<u>200,000</u>

参考

前頁の決算振替仕訳を損益勘定に振替えると、損益勘定の貸借差額で当期の純利益 65,000 円を計上できることがわかります。

この金額 65,000 円も決算振替仕訳で資本金勘定へ振替えられることになります。

決算振替仕訳

(損 益) 65,000 (資 本 金) 65,000



講義を聴いてまとめてください

1. 仕訳の順序

特別な決まりではないが、決算振替は、下記に示す通り費用振替仕訳から行われるのが一般的である。

- (1) 第1順位…費用振替
- (2) 第2順位…収益振替
- (3) 第3順位…当期純利益

2. 検定での出題

日商3級では (当期純利益) を (資本金) 勘定へ振替る仕訳が出題される。

決算振替仕訳

(損 益) ×××× (資 本 金) ×××



解答

現 金		支払手形	
80,000	130,000	70,000	60,000
60,000	100,000	90,000	80,000
110,000	12/31 次期繰越 20,000	12/31 次期繰越 30,000	50,000
250,000	250,000	190,000	190,000
1/1 前期繰越 20,000		1/1 前期繰越 30,000	

当座預金		借 入 金	
120,000	160,000	10,000	40,000
140,000	150,000	10,000	
80,000	12/31 次期繰越 30,000	12/31 次期繰越 20,000	
340,000	340,000	40,000	40,000
1/1 前期繰越 30,000		1/1 前期繰越 20,000	

繰越商品		資 本 金	
30,000	30,000	12/31 次期繰越 60,000	45,000
10,000	12/31 次期繰越 10,000		15,000
40,000	40,000	60,000	60,000
1/1 前期繰越 10,000		1/1 前期繰越 60,000	

備 品	
60,000	10,000
	12/31 次期繰越 50,000
60,000	60,000
1/1 前期繰越 50,000	



講義を聴いてまとめてください

1. 大陸式決算法での締切方法

決算において（残高）勘定と呼ばれる集合勘定を用意して、ここに資産、負債および純資産勘定を振替える。現金と支払手形勘定を例にして残高勘定への振替を示すと次の通りである。

現 金		支払手形	
⋮	⋮	⋮	⋮
12/31 残 高 20,000	12/31 残 高 30,000		
250,000	250,000	190,000	190,000

残 高	
12/31 現 金 20,000	12/31 支払手形 30,000
⋮	⋮

補助簿



まずは本文をお読みください

1 主要簿と補助簿

これまで学んだように、日々発生する取引を仕訳帳に仕訳し、総勘定元帳に転記しておけば、決算手続を経て貸借対照表や損益計算書と呼ばれる財務諸表を作成することができます。

簿記の重要な目的である財務諸表の作成のためには、この2冊の主要簿があれば十分です。しかし、実際に会社を運営していくためには現金の受取や支払いなど頻繁に行われる取引の詳細や勘定口座の内訳などをより具体的に記録する必要があります。1年間の会計期間の記録である主要簿に対し、日常の取引のための小回りの利く帳簿が補助簿であると考えて下さい。



このように主要簿である仕訳帳と総勘定元帳をバックアップあるいはサポートするのが補助簿であると考えて下さい。また、この主要簿の仕訳帳と総勘定元帳は会社に必ず必要な帳簿です。しかし補助簿は企業規模や業種によっては、まったく必要ないこともあります。補助簿は必要とする企業が必要な帳簿を用意して記帳すると考えて下さい。



講義を聴いてまとめてください

1. 補助簿の必要性

勘定口座では、各取引の会計的な状況しか把握することができない。

(例) 掛仕入, 取引日付, 相手科目, 金額

補助簿では取引の具体的な内訳が明らかになる。

(例) 掛仕入 (仕入先), (商品の種類), (運賃発生
の有無), (支払方法)

2. 日商3級での出題

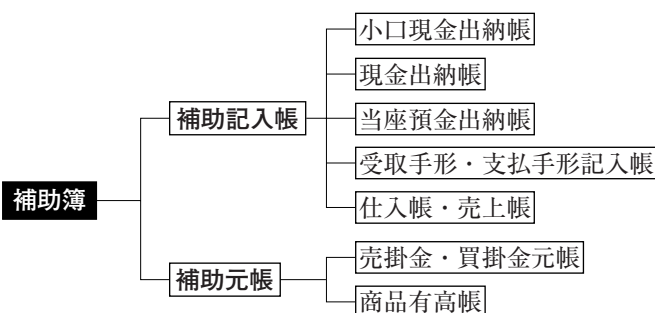
日商検定では第2問に8～12点で、補助簿に関する問題が出題される。



まずは**本文**をお読みください

2 補助簿の種類

補助簿には大きく分けて2種類あります。1つは特定の取引について、取引の発生順に細かく記録を行うための**補助記入帳**と呼ばれる帳簿、もう1つは特定の勘定または内容について項目別に整理を行うための**補助元帳**と呼ばれる帳簿です。それぞれの主な帳簿には次のようなものがあります。



補助簿は主要簿とは違って、決算などのために作成するものではありません。個々の会社がその必要に応じて作成するものです。したがって、すべての会社が補助簿を完璧につけているわけではありません。また、所有する資産や取引内容によっては、上記以外の帳簿を作成するケースも多くあります。

(特殊な補助簿)

有価証券元帳、固定資産台帳、未払金記入帳、月賦販売元帳、etc.



講義を聴いてまとめてください

1. 補助記入帳

会社により小口現金制度を採用していれば（ **小口現金出納帳** ）を、約束手形を振出ししていれば（ **支払手形記入帳** ）を記入していると考えてよい。

2. 補助元帳

（ **売掛金元帳** ）など、ほぼ全ての企業で記帳しているオーソドックスな補助元帳もある。



まずは**本文**をお読みください

3 補助簿と勘定科目の関係

補助簿の記入に際しては、ある1つの取引が行われたとき、いくつかの補助簿にその取引内容が重複して記入されます。これは、主要簿のように会計処理を決まったルールで記入するというよりも、**取引の詳細をより具体的に記録しよう**とすることに重点を置くためです。

総勘定元帳の各勘定口座に対して、次のような補助簿が作成されます。

内 訳	補 助 簿	勘定科目
補助記入帳	小口現金出納帳	小口現金
	現金出納帳	現 金
	当座預金出納帳	当座預金
	受取手形記入帳	受取手形
	支払手形記入帳	支払手形
	仕入帳	仕 入
	売上帳	売 上
補助元帳	売掛金元帳	売 掛 金
	買掛金元帳	買 掛 金
	商品有高帳	仕 入
		売 上
		繰越商品



講義を聴いてまとめてください

1. 補助記入帳

補助記入帳は、(**取引の内容**) を詳細に記入するという趣旨から全ての帳簿が (**勘定口座**) と直接関係している。このことから、勘定科目により必要な補助簿とそうでないものが各企業により発生するわけである。

(例) 現金収支がない… (**現金出納帳**) 不要

手形を受取ることがない… (**受取手形記入帳**) 不要

2. 補助元帳

売掛金元帳は実務上、商品有高帳は日商検定受験上重要です。



(8月中の取引)

8月 1日 繰越記入を行う

4日	(現金)	100,000	(売上)	100,000
7日	(交通費)	20,000	(現金)	20,000
17日	(現金)	30,000	(受取手数料)	30,000
20日	(仮払金)	40,000	(現金)	40,000

解答

現金出納帳

日付	摘要	収入	支出	残高
8 1	前月繰越	20,000		20,000
4	売上 A社へ現金売上	100,000		120,000
7	交通費 従業員Bへの支払		20,000	100,000
17	受取手数料 取引先Cより	30,000		130,000
20	仮払金 役員Dの交際費用		40,000	90,000
	合 計	150,000	60,000	
31	次月繰越		90,000	
		150,000	150,000	
9 1	前月繰越	90,000		90,000



講義を聴いてまとめてください

1. 現金出納帳の記入

実務上は、(総勘定元帳) の (現金) 勘定をこの (現金出納帳) で代用することもある。

2. 摘要欄の記入

現金出納帳だけでなく補助簿の摘要欄は、勘定口座への仕訳の転記と異なり、(必ず記入しなければならないという事項) はない。できるだけ取引の詳細を記入すればよい。



解説

9月5日に約束手形の決済のために200,000円の引落しがあり、この時点で当座借越が発生するので「借／貸」の欄の記入に注意しましょう。各取引を仕訳で示すと次のようになります。

(9月中の取引)

9月 3日	(当 座 預 金)	90,000	(売 掛 金)	90,000
5日	(支 払 手 形)	200,000	(当 座 預 金)	170,000
			(当 座 借 越)	30,000
16日	(当 座 借 越)	30,000	(売 上)	50,000
	(当 座 預 金)	20,000		
20日	(水 道 光 熱 費)	10,000	(当 座 預 金)	10,000

解答

当 座 預 金 出 納 帳

日付	摘 要	預入	引出	借 貸	残高
9 1	前月繰越	80,000		借	80,000
3	売掛金 A社振出小切手預入	90,000		〃	170,000
5	支払手形 B社宛約束手形		200,000	貸	30,000
16	売上 C社振出小切手預入	50,000		借	20,000
20	水道光熱費 8月分電気代		10,000	〃	10,000
	合 計	220,000	210,000		
30	次月繰越		10,000		
		220,000	220,000		
10 1	前月繰越	10,000		借	10,000



講義を聴いてまとめてください

1. 複数の当座預金口座

当座預金出納帳は、当座預金の（ **口座別** ）で作成する。したがって複数の銀行に当座預金口座があれば、銀行別にそれぞれ当座預金出納帳を作成することになる。

2. 雛型の特徴

当座預金出納帳は、当座借越発生に備えて（ **「借／貸」** ）の欄があることが特徴である。



解説

それぞれの仕訳を取引日順に示せば次のようになります。

(5月中の取引)

5月10日	(受取手形)	50,000	(売掛金)	50,000
11日	(受取手形)	60,000	(売上)	60,000
15日	(買掛金)	50,000	(受取手形)	50,000
20日	(受取手形)	30,000	(売掛金)	30,000

解答

受取手形記入帳

日付	手形種類	手形番号	摘要	支払人	振出人 または 裏書人	振出日	満期日	支払場所	手形金額	てん末	
										日付	摘要
5/10	約束手形	5	売掛金	A社	A社	5/10	6/30	B銀行	50,000	5/15	裏書
11	約束手形	18	売上	D社	C社	4/30	6/10	E銀行	60,000		
20	為替	21	売掛金	H社	G社	5/20	8/20	H銀行	30,000		



講義を聴いてまとめてください

1. 支払期日（満期日）

保有する手形は、支払期日（満期日）の2～3日前に取引銀行に手形代金の取立を依頼して、その引渡しを行う。これを（**取立依頼**）と呼ぶ。この手形の取立すべき日に、取立が行われなければ、手形そのものの効力を失うことになってしまうこともある。

このために、保有する手形は支払期日（満期日）を正確に把握する必要がある。このために（**受取手形記入帳**）を設けて、手形の管理を行っている。

2. てん末欄

受取手形記入帳の右側のてん末欄が（**未記入（余白）**）となっている手形が（**現在企業が保有する手形**）である。未記入欄の金額の合計は、現在の受取手形勘定の残高と一致する。



解説

約束手形を振出した場合と、為替手形の引受に関する場合は、「受取人」、「振出人」の記入を区別する必要があります。

(6月、7月中の取引)

6月 5日	(仕 入)	30,000	(支 払 手 形)	30,000
10日	(買 掛 金)	40,000	(支 払 手 形)	40,000
7月31日	(支 払 手 形)	30,000	(当 座 預 金)	30,000

解答

支 払 手 形 記 入 帳

日付	手形種類	手形番号	摘 要	受取人	振出人	振出日	満期日	支払場所	手形金額	て ん 末	
										日付	摘要
6 5	約束手形	19	仕 入	A 社	当 社	6 5	7 31	B銀行	30,000	7 31	決済
6 10	為替	31	買掛金	D 社	C 社	6 10	8 10	〃	40,000		



講義を聴いてまとめてください

1. 不渡手形発生の予防

手形を振出（引受）している際は、支払期日には（ **手形代金相当分** ）を（ **当座預金** ）に用意しておかなければならない。

この支払期日を管理するのが支払手形記入帳である。

2. てん末欄

てん末の右側が（ **未記入（余白）** ）の手形が（ **未決済の手形** ）であり、この未記入欄の合計金額が（ **支払手形** ）勘定の現在の残高と一致する。



解答

買掛金元帳 A 社

日付	摘要	借方	貸方	借/貸	残高
8 1	前月繰越		30,000	貸	30,000
17	為替手形振出	25,000		〃	5,000
25	仕入, 一部手付金支払		40,000	〃	45,000
	合 計	25,000	70,000		
31	次月繰越	45,000			
		70,000	70,000		
9 1	前月繰越		45,000	貸	45,000



講義を聴いてまとめてください

1. 売掛金, 買掛金と補助元帳

補助簿の中でも最も重要なのが (売掛金元帳) である。

この売掛金元帳は (信用 (掛)) 取引を行っている企業では必ず記帳している。

買掛金元帳は, 仕入先から送付されてくる請求書を信頼し, 記帳されることは少ない。

2. 日商簿記での出題

3 級の検定試験では, 第 3 問の試算表作成問題において, 売掛金, 買掛金勘定の明細として, この売掛金, 買掛金元帳の内訳残高を算出させることがある。

単独論点として第 2 問などに売掛金, 買掛金元帳の作成問題が出題されることはほとんどない。



解説

4月中に発生した商品の仕入に関する取引の仕訳を示すと、次のようになります。なお解答に示した「摘要欄」は見本です。

(4月中の取引)

4月 4日	(仕 入)	33,000	(買 掛 金)	30,000
			(現 金)	3,000
7日	(仕 入)	20,000	(買 掛 金)	20,000
10日	(買 掛 金)	400	(仕 入)	400
15日	(仕 入)	25,000	(現 金)	12,500
			(買 掛 金)	12,500
20日	(買 掛 金)	5,000	(仕 入)	5,000

解答

仕 入 帳

日付	摘 要	金 額
4 4	A社 甲商品100個(@300円)掛仕入	
	支払運賃3,000円現金払	33,000
7	B社 乙商品1,000個(@20円)掛仕入	20,000
10	B社 乙商品20個(@20円)返品	400 ← 値引・返品 は朱記する
15	C社 丙商品50個(@500円)半額現金, 掛	25,000
20	C社 丙商品分値引	5,000
30	当月総仕入高	78,000 ← プラスの 要素の和
〃	当月値引返品高	5,400 ← マイナスの 要素の和
〃	当月純仕入高	72,600 ← その差



講義を聴いてまとめてください

1. 実務上の重要性

棚卸資産でも高級品である（ 宝石 ）や（ 不動産 ）などは、補助記入帳の仕入帳を記帳する場合が多い。

2. 総勘定元帳の代用

（ 総勘定元帳 ）（ 仕入 ）勘定の記入を補助記入帳の（ 仕入帳 ）で代用することもある。



解説

9月中に行った商品売上に関する取引を仕訳で示せば次のようになります。

9月 7日	(売 掛 金)	70,000	(売 上)	70,000
	(荷 造 運 賃)	4,000	(現 金)	4,000
9日	(現 金)	10,000	(売 上)	21,000
	(売 掛 金)	11,000		
12日	(売 上)	3,500	(売 掛 金)	3,500
15日	(売 掛 金)	43,000	(売 上)	40,000
			(現 金)	3,000
21日	(売 上)	2,000	(売 掛 金)	2,000

解答

売 上 帳

日付	摘 要	金 額
9 7	D社 甲商品100個(@700円)掛 発送運賃4,000円当方負担	70,000
9	E社 甲商品30個(@700円) 10,000円E社振出小切手, 11,000円掛	21,000
12	E社 甲商品 5 個(@700円)返品	3,500
15	F社 乙商品50個(@800円)掛 発送運賃3,000円先方負担	40,000
21	F社 値引2,000円	2,000
30	当月総売上高	131,000
〃	当月値引返品高	5,500 ← 3,500円 + 2,000円
〃	当月純売上高	125,500 ← 上記の差額

これを足す



講義を聴いてまとめてください

1. 実務上の取扱い

法人税（所得税）や（ 消費税 ）の計算や申告を考慮すれば各企業の売上高やその内訳は重要であり、（ 売上帳 ）を記帳している企業も多い。

2. 売上勘定の代用

仕入帳と同様に、売上帳を売上勘定の代用としているケースもある。

商品有高帳



まずは**本文**をお読みください

1 商品有高帳

いずれの企業でも、商品の在庫は気になるものです。少なくとも、次の仕入を検討しなければなりません。また在庫が多いということは売上が伸び悩んでいるわけで、これも深刻な問題です。

気になる商品の在庫を管理するために記入されるのが、^{しょうひんありだかちょう}商品有高帳と呼ばれる補助元帳です。商品の入手時と払出し時にその数量、単価、合計金額と残高額を記入します。

商品有高帳

〇〇商品

日付	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
		商品仕入時			商品販売時			商品在庫		

仕入、販売のつど記入



講義を聴いてまとめてください

1. 払出原価と在庫管理

- (1) 払出原価…販売品の原価を把握
- (2) 在庫管理…不足時の補給

2. 記帳の対象となる商品

- (1) 主要取扱品…有高帳の記帳
(2) その他商品…不要

3. 記帳によるメリット

- (1) 払出原価…販売価額との差額から販売益を把握
- (2) 期末在庫…帳簿棚卸高



まずは**本文**をお読みください

2 払出品の単価

商品の仕入および販売時に商品ごとにその受払いを商品有高帳に記入すれば、現在の棚卸高をつねに把握しておくことができます。記入に際して最も重要な点は、同一の商品で**仕入単価の異なる**ものが在庫しているときに、販売した商品の単価をどのようにして決めるかという点です。

取引例 A商品について仕入単価の違う古い在庫と新しい在庫があるとします。

A商品 $\left\{ \begin{array}{l} \rightarrow 6/25 \text{ 仕入分 } @100\text{円} \times 100\text{個} \\ \rightarrow 7/6 \text{ 仕入分 } @106\text{円} \times 100\text{個} \end{array} \right\} \rightarrow 150\text{個販売したが、その単価は？}$

このとき、商品の個々の単価を在庫管理していれば、実際に払出した商品の何個分は@100円のものを何個分は@106円のものを合計150個販売したということがわかります。

また、次のような考え方をして、商品の原価を決めることもできます。

- ① **先入先出法**…6/25分を100個、7/6分を50個払出したものとする。
- ② **平均法**…7/6分と6/25分の平均単価を用いて払出したものとする。

$$\text{平均単価} : \frac{@100\text{円} \times 100\text{個} + @106\text{円} \times 100\text{個}}{100\text{個} + 100\text{個}} = @103\text{円}$$

ただし、これはあくまでも払出の際の単価の求め方（考え方）であり、実際にどちらの商品を出庫したかということではありません。



講義を聴いてまとめてください

1. 実際の商品の払出

先入先出法的に古い商品から払出すはず。

2. 両者の違い

- (1) 先入先出法…上記（ **現実の商品の払出** ）に即する。
- (2) 平均法…時価変動著しい商品の（ **原価平準化** ）になる。



解答

(先入先出法)

商品有高帳

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7	1 前月繰越	100 ^個	19 ^円	1,900 ^円				100 ^個	19 ^円	1,900 ^円
	5 仕入	200	22	4,400				100	19	1,900
								200	22	4,400
	18 売上				100	19	1,900			
					100	22	2,200	100	22	2,200
	21 仕入	200	24	4,800				100	22	2,200
								200	24	4,800
	27 売上				100	22	2,200			
					100	24	2,400	100	24	2,400
	31 次月繰越				100	24	2,400			
		500		11,100	500		11,100			
8	1 前月繰越	100	24	2,400				100	24	2,400



講義を聴いてまとめてください

1. 払出原価の把握

会社が仕入れる（**商品の原価**）は常に一定額ではなく、変動するの
が一般的である。このために商品有高帳により（**払出原価**）を（**把握**）する必要がある。

2. 払出原価と販売価額

物価変動により仕入原価が変動すると、同様に販売価額も連動して変化する。
販売価額と払出原価の差額として（**販売益**）が把握されるが、この時に払
出原価をどのようにして求めるかで販売益に変化が現われる。



解答

(移動平均法) 商品有高帳

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7	1 前月繰越	100	19 ^円	1,900 ^円				100	19 ^円	1,900 ^円
	5 仕入	200	22	4,400				300	21	6,300
	18 売上				200	21	4,200	100	21	2,100
	21 仕入	200	24	4,800				300	23	6,900
	27 売上				200	23	4,600	100	23	2,300
	31 次月繰越				100	23	2,300			
		500		11,100	500		11,100			
8	1 前月繰越	100	23	2,300				100	23	2,300



講義を聴いてまとめてください

1. 変動する仕入原価

- (1) 国内調達品…諸々の事由による値上
- (2) 輸入調達品…為替相場の変動により変化する

2. 原価の平準化

- (1) 仕入原価が変動する場合…販売益にも影響する
- (2) 平準化した販売益…払出原価を平均化する

3. 平均法の種類

- (1) 移動平均法…(仕入の都度) 平均単価を把握する
- (2) 総平均法…一定期間(月, 会計期間)の平均単価

4. 受験上の注意

先入先出法, 移動平均法も払出欄に記入する数量と単価の金額が求められるようにしておくこと。

解答

内 訳	1	2	3	4	5	6
現金出納帳				○		
当座預金出納帳			○	○		○
仕 入 帳		○				
売 上 帳						○
商品有高帳		○				○
売掛金元帳	○				○	○
買掛金元帳		○			○	
受取手形記入帳	○					
支払手形記入帳			○			



講義を聴いてまとめてください

1. 取引と補助簿の関係

- (1) 発生する勘定科目から → 補助記入帳（補助元帳）
- (2) 取引内容から → 補助元帳

2. 仕訳からの連想

具体的な（ 取引仕訳 ）を行ってから、記入される補助簿を考える。

3. 検定試験での出題

P.211の範例と同様な問題が第2問において8～12点により出題される。最近第2問で補助簿の問題が出題される時には、この形式の出題パターンが多い。

また、仕入帳と売上帳を資料として提示して、商品有高帳に商品の具体的な受入、払出を記入させる形式の問題が出題されることもあるので、商品有高帳についてもその記入方法は理解しておくこと。

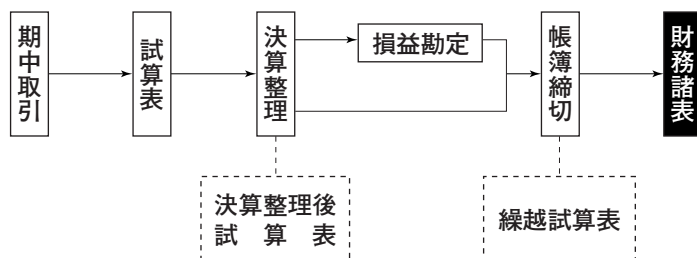
財務諸表の作成



まずは本文をお読みください

1 財務諸表の作成

一会計期間の業績を示す損益計算書と決算日現在の財産一覧表である貸借対照表は、次のような一連の決算の手続きによって作成することができます。



財務諸表の作成にあたっては、損益勘定、繰越試算表、決算整理後試算表などを利用します。



講義を聴いてまとめてください

1. 決算手続の準備

実際の決算は（ 試算表 ）を作成するところから開始する。

この試算表に基づき（ 決算整理仕訳 ）が行われる。

2. 決算整理手続

決算整理は第4章で学習した（ 商品の棚卸 ）から（ 前払費用 ）の計上までが一般的な手続として行われる。

3. 申告や株主総会提出のための財務諸表

基本的には、全て（ 同一の財務諸表 ）が用いられる。

4. その他の財務諸表

2級以上では、株主資本等変動計算書などの財務諸表が作成される。



解答

損益計算書

〇〇〇社		自平成〇年1月1日 至平成〇年12月31日		(単位:円)
期首商品棚卸高	9,000	売上高	95,000	
当期商品仕入高	58,000	期末商品棚卸高	7,000	
給料	15,000	受取家賃	1,500	
保険料	2,000	有価証券売却益	2,000	
貸倒引当金繰入	1,500			
減価償却費	3,000			
支払利息	500			
固定資産売却損	1,500			
当期純利益	15,000			
	<u>105,500</u>			<u>105,500</u>



講義を聴いてまとめてください

1. 損益計算書の機能

- (1) 当期純利益の表示…(**業績の結果**) を表示
- (2) 内訳表示…当期純利益が計上される (**過程**) を明示
- (3) 収支のバランス…売上高, 売上原価, 営業関係諸費用等

2. 損益計算書の利益

勘定式の損益計算書では, 当期純利益しか表示されないが, 2級以上で作成する報告式の損益計算書では, その計算過程において各種の利益が表示される。

- (1) 売上総利益…(**売上高**) — (**売上原価**)
- (2) 営業利益…売上総利益 — (**販売費及び一般管理費**)
- (3) (**経常利益**) …営業利益 ± 営業外損益
- (4) 税引前当期純利益…(**経常利益**) ± (**特別損益**)

解答

貸借対照表				(単位：円)	
〇〇〇社		平成〇年12月31日現在			
現金預金		11,000	支払手形		19,000
受取手形	15,000		買掛金		21,000
貸倒引当金	<u>600</u>	14,400	未払金		13,000
売掛金	20,000		未払費用		4,000
貸倒引当金	<u>800</u>	19,200	資本金		140,000
有価証券		6,000	当期純利益		26,600
商標		8,000			
前払費用		1,500			
未収収益		2,500			
建物	50,000				
減価償却累計額	<u>21,000</u>	29,000			
備品	40,000				
減価償却累計額	<u>8,000</u>	32,000			
土地		100,000			
		<u>223,600</u>			<u>223,600</u>



講義を聴いてまとめてください

1. 貸借対照表の区分

(1) 資産の部

① (**流動資産**) …現金預金～前払費用② (**固定資産**)

イ) 有形固定資産…建物～土地

ロ) 無形固定資産…特許権～のれん

ハ) 投資その他の資産…長期貸付金, 関係会社株式等

③ (**繰延資産**) …2級以上

(2) 負債の部

① (**流動負債**) …支払手形～短期借入金② (**固定負債**) …長期借入金など

(3) 純資産の部

① 株主資本…資本金

② 評価・換算差額等…2級以上



2. 流動と固定の分類基準

下記の2つの基準により分類されている。

(1) (正常営業循環基準) …売掛金, 買掛金他

(2) (一年基準) …貸付金, 未払金他

3. 会社法による財務諸表 (計算書類)

会社法では, 株式会社に下記の財務諸表 (計算書類) の作成を義務付けている。

(1) 貸借対照表

(2) 損益計算書

(3) 株主資本等変動計算書…純資産の部の増減内訳

(4) 個別注記表

4. 個別注記表

上記(4)の個別注記表は, 財務諸表では表示できない事項, あるいは詳細を示すこととしている。

(1) 貸借対照表の注記事項として下記のような事項を示さなければならない。

① 資産の担保

② 保証債務

③ 取締役との取引による債権等

④ その他

5. 附属明細書

会社は, さらに貸借対照表, 損益計算書, 株主資本等変動計算書, 個別注記表について, その附属明細書を作成しなければならない。

(1) 有形固定資産等の明細

(2) 引当金の明細

(3) その他

精算表の作成

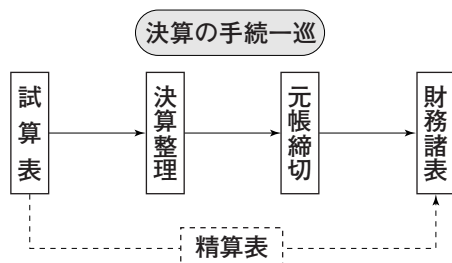


まずは本文をお読みください

1 精算表とは？

前講で説明した通り、決算は期中取引のすべてが終了した時点で残高試算表を作成するところから始まり、決算振替仕訳が完了し、総勘定元帳を締切った後に財務諸表を作成して完了します。(P.214)

しかし、会社の状況を理解し、財務諸表作成上のミスを防止するために、この正式な一連の手続と併行して**精算表**という一覧表を作成して、決算と同時あるいは事前に決算の結果である**当期純利益**を把握するのが一般的です。



精 算 表

平成〇年12月31日

(単位：円)

勘定科目	試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方



講義を聴いてまとめてください

1. 作成にあたり

まず次頁で各金額の（ **プラスマイナスのルール** ）を理解すること。

2. 作成方法

決算整理仕訳を全てメモ用紙などで処理してから整理記入欄へ記入すること。



まずは本文をお読みください

2 精算表の記入ルール

精算表を作成するには、試算表に基づき決算整理仕訳を使います。まず試算表の欄を参考にし、整理記入欄に決算整理仕訳を入れます。そして、それぞれの勘定科目について、試算表の金額に決算整理仕訳の金額を足す（または引く）ことで損益計算書、貸借対照表の欄の金額を求めます。

最大のポイントは、例えば貸借対照表の借方に記入する資産ならば、試算表の金額に整理記入欄の借方は足し、貸方は引くというルールです。下にこのルールをまとめておきます。

精 算 表								
平成〇年12月31日 (単位：円)								
勘 定 科 目	試 算 表		整 理 記 入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
① 資 産	A		a		プラス		A + a	
② 資 産	A'		a'		マイナス		A' - a'	
③ 負債・純資産		B		b		プラス		B + b
④ 負債・純資産		B'		b'		マイナス		B' - b'
⑤ 費 用	C		c	プラス	C + c			
⑥ 費 用	C'		c'	マイナス	C' - c'			
⑦ 収 益		D		d		プラス	D + d	
⑧ 収 益		D'		d'		マイナス	D' - d'	

試算表の貸借と整理記入欄の貸借が借方もしくは貸方の同じ側であれば試算表の金額と整理記入欄の金額はプラスされます。(上記①, ③, ⑤, ⑦)

逆に、試算表の貸借と整理記入欄の貸借が逆の場合は試算表の金額から整理記入欄の金額がマイナスされます。(上記②, ④, ⑥, ⑧)



講義を聴いてまとめてください

1. 金額移記のルール

試算表の金額と整理記入欄のプラス・マイナスのルールを理解すること。

(1) 同じ側…**プラス**

(2) 反対側…**マイナス**